

卒業生のキャリア状況調査に対する アンケート結果について

【卒業生対象】

本アンケートは、東京農業大学の卒業生及び卒業生の就職先企業における働く上で必要とされている能力や経験、本学に対するお考え等をお伺いし、その結果を本学の教育改革に適切に反映して、教育の質向上を図ることを目的としたものです。

■ 調査概要

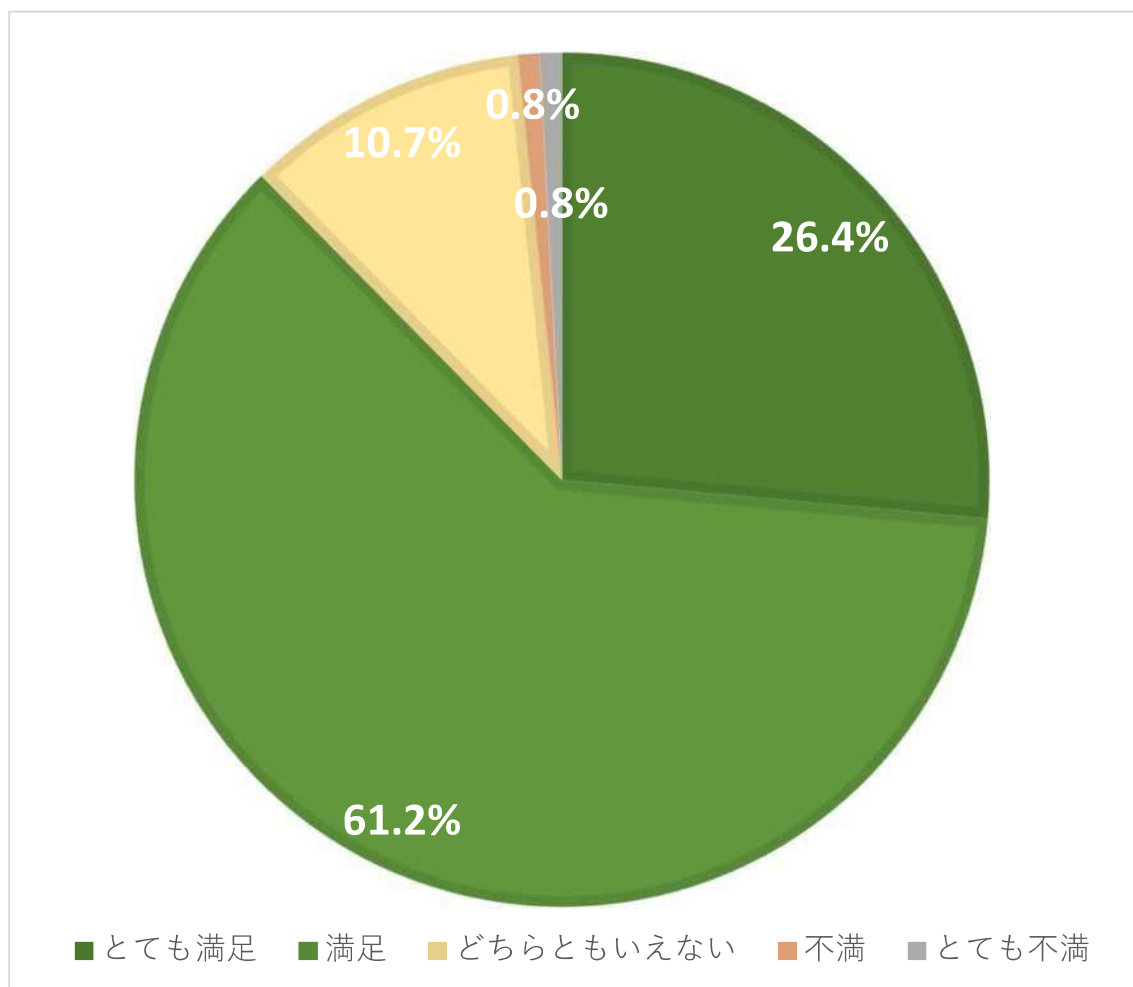
調査対象	令和6年度卒生のうち、進路報告登録時において「大学行事への協力依頼があった場合協力する」と意思表示を頂き、かつメールアドレスが判明している方
調査期間	2026年5月15日～6月14日（31日間）
調査方法	①作成したメーリングリストに基づき、アンケート協力依頼メールを配信 ②依頼メール記載のURLへアクセス頂き、回答 ※Microsoft Formsを利用 ※無記名方式にて実施
調査依頼数	476件（前回※1：486件）
回答数	121件（前回：94件）
回答率	25.42%（前回：19.34%）
質問項目数	33問（前回：33問）
平均回答時間	8分07秒（前回：7分07秒）

※ 1：2025年5月15日～2025年6月14日実施の前回調査を指す

FACE1. 卒業学部・学科／研究科・専攻をお知らせください。

学部・学科／研究科・専攻	人数	比率
応用生物科学部_栄養科学科	4名	3.3%
応用生物科学部_醸造科学科	6名	5.0%
応用生物科学部_食品安全健康学科	3名	2.5%
応用生物科学部_農芸化学科	4名	3.3%
国際食料情報学部_アグリビジネス学科	4名	3.3%
国際食料情報学部_国際食農科学科	2名	1.7%
国際食料情報学部_国際農業開発学科	3名	2.5%
国際食料情報学部_食料環境経済学科	4名	3.3%
生物産業学部_海洋水産学科	4名	3.3%
生物産業学部_自然資源経営学科	3名	2.5%
生物産業学部_食香粧化学科	3名	2.5%
生物産業学部_北方圏農学科	3名	2.5%
生命科学部_バイオサイエンス学科	3名	2.5%
生命科学部_分子生命化学科	3名	2.5%
生命科学部_分子微生物学科	6名	5.0%
地域環境科学部_森林総合科学科	5名	4.1%
地域環境科学部_生産環境工学科	3名	2.5%
地域環境科学部_造園科学科	5名	4.1%
地域環境科学部_地域創成科学科	10名	8.3%
農学部_デザイン農学科	4名	3.3%
農学部_生物資源開発学科	4名	3.3%
農学部_動物科学科	6名	5.0%
農学部_農学科	7名	5.8%
大学院_応用生物科学研究科_醸造学専攻	1名	0.8%
大学院_応用生物科学研究科_食品安全健康学専攻	3名	2.5%
大学院_応用生物科学研究科_食品栄養学専攻	3名	2.5%
大学院_応用生物科学研究科_農芸化学専攻	1名	0.8%
大学院_生命科学研究科_バイオサイエンス専攻	4名	3.3%
大学院_生命科学研究科_分子生命化学専攻	2名	1.7%
大学院_生命科学研究科_分子微生物学専攻	3名	2.5%
大学院_地域環境科学研究科_造園学専攻	1名	0.8%
大学院_地域環境科学研究科_地域創成科学専攻	2名	1.7%
大学院_地域環境科学研究科_農業工学専攻	1名	0.8%
大学院_農学研究科_動物科学専攻	1名	0.8%
合計	121名	100.0%

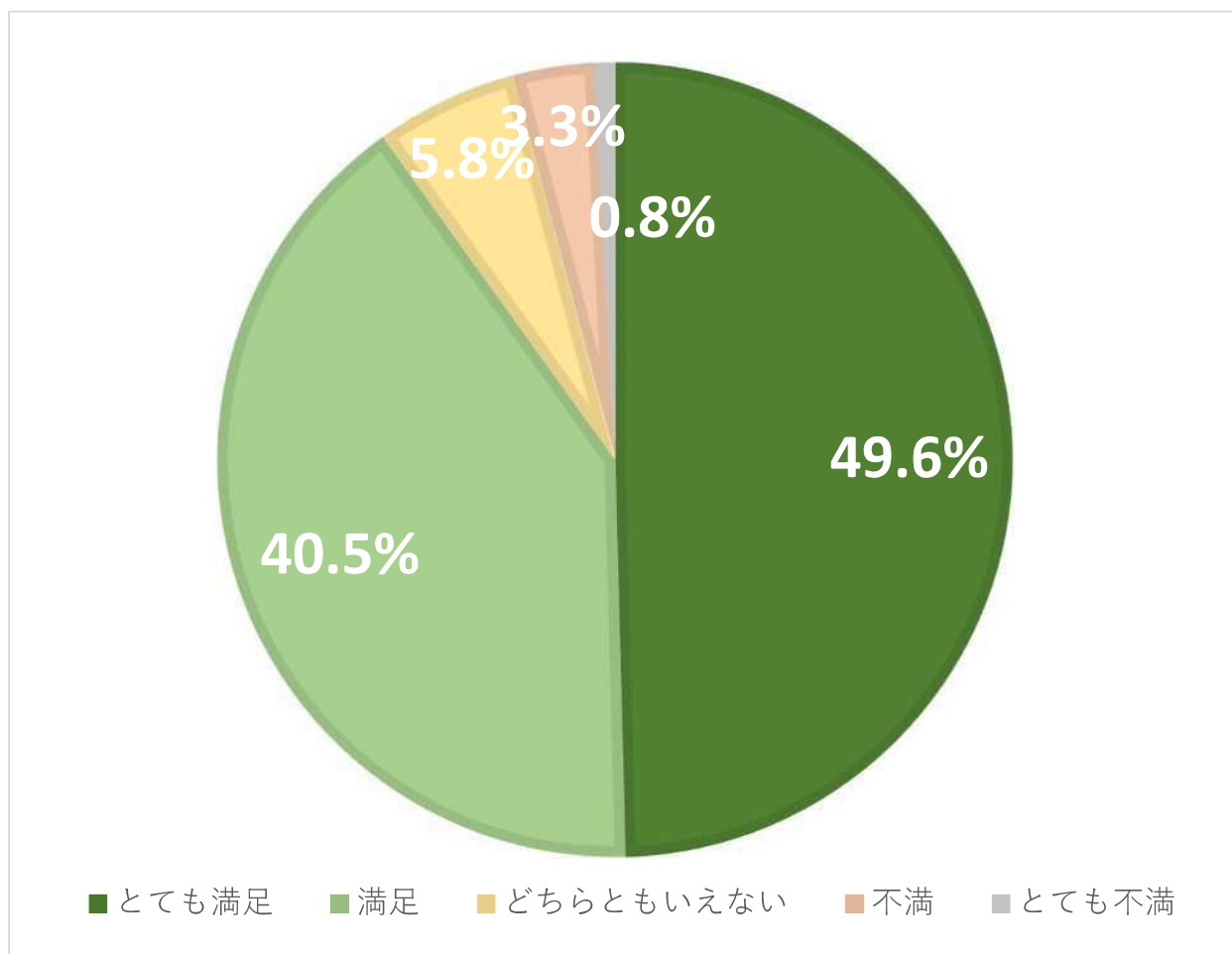
Q1. 本学の教育・研究は満足 of いくものでしたか。



項目	合計	比率
とても満足	32名	26.4%
満足	74名	61.2%
どちらともいえない	13名	10.7%
不満	1名	0.8%
とても不満	1名	0.8%
合計	121名	100%

- ・教育・研究について「とても満足」が32名（26.4%）、「満足」が74名（61.2%）であり、8割以上が満足と回答した。
- ・「どちらともいえない」は13名となり、全体の1割を占めた。
『農学部_動物科学科』の卒業生が3名であり最多であった。
- ・「不満」「とても不満」は各1名であった。
『農学部_動物科学科』と『大学院_地域環境科学研究科_地域創成科学専攻』がそれぞれ1名となっている。

Q2. 大学生活を振り返って、学生生活は満足したものでしたか。

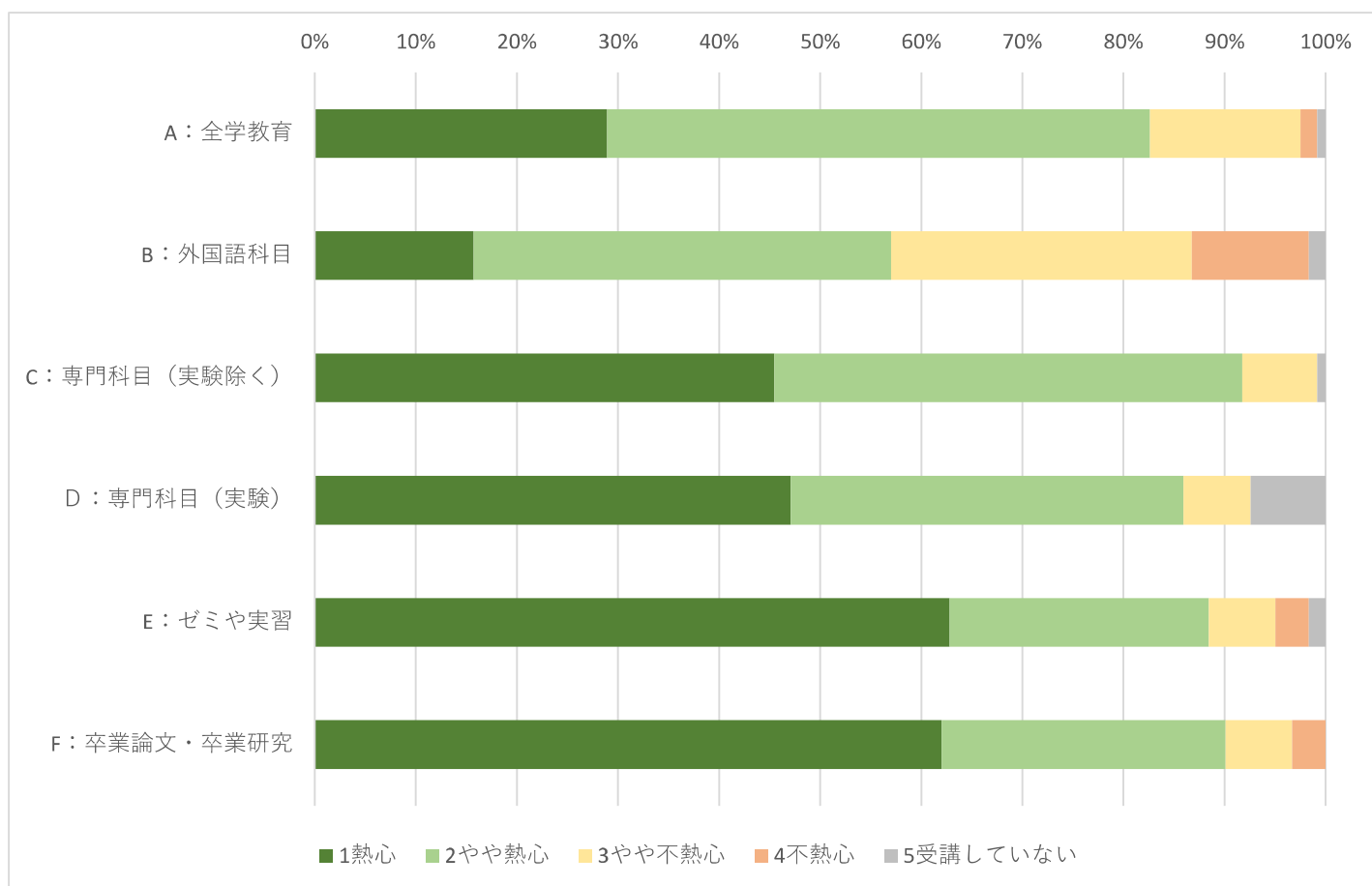


項目	合計	比率
とても満足	60名	49.6%
満足	49名	40.5%
どちらともいえない	7名	5.8%
不満	4名	3.3%
とても不満	1名	0.8%
合計	121名	100%

- ・学生生活の満足度は「とても満足」が60名（49.6%）で全体の約半数を占めた。
「満足」の49名（40.5%）と合わせると109名（90.1%）となり、約9割が満足という結果となった。
- ・一方で「不満」が4名となり『農学部_動物科学科』の卒業生が2名で最多となっている。
- ・「とても不満」が1名で『大学院_地域環境科学研究科_地域創成科学専攻』の卒業生であった。

Q3. 大学の授業科目について、どの程度熱心に取り組みましたか。

AからFまでの項目ごとにお答えください。



項目	1熱心	2やや熱心	3やや不熱心	4不熱心	5受講していない	合計	1 + 2 合計	1 + 2 / 1 ~ 4 計
A : 全学教育	35名	65名	18名	2名	1名	121名	100名	83.3%
B : 外国語科目	19名	50名	36名	14名	2名	121名	69名	58.0%
C : 専門科目 (実験除く)	55名	56名	9名		1名	121名	111名	92.5%
D : 専門科目 (実験)	57名	47名	8名		9名	121名	104名	92.9%
E : ゼミや実習	76名	31名	8名	4名	2名	121名	107名	89.9%
F : 卒業論文・卒業研究	75名	34名	8名	4名		121名	109名	90.1%

※本設問の「熱心+やや熱心」の割合（1 + 2 / 1 ~ 4 計）は、「受講していない」を除いた受講者ベースで算出している。

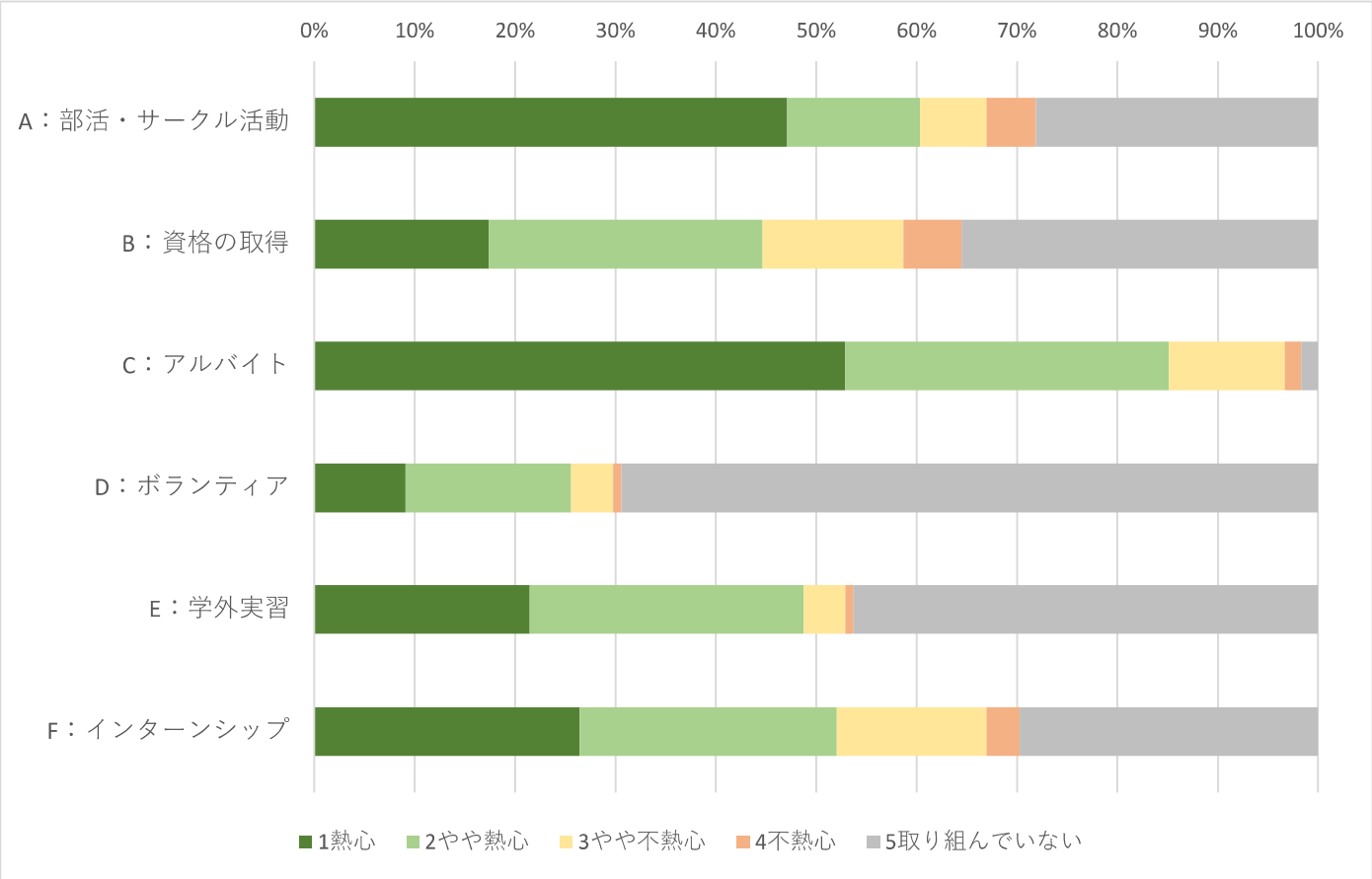
・『C：専門科目（実験除く）』『D：専門科目（実験）』は「熱心+やや熱心」の割合がいずれも92%台で最も高い結果である。

・『E：ゼミや実習』は「熱心」が76名で項目内で最多。次点で『F：卒業論文・卒業研究』が75名。

・『A：全学教育』は「熱心」が「やや熱心」の約半数と大きく下回った。

・『B：外国語科目』においては「熱心+やや熱心」の割合は58.0%で、他項目より大きく低く、3割が「やや不熱心」を選択する結果となった。

Q4. 課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。
AからFまでの項目ごとにお答えください。



項目	1熱心	2やや熱心	3やや不熱心	4不熱心	5取り組んでいない	合計	1 + 2 合計	1 + 2 割合
A：部活・サークル活動	57名	16名	8名	6名	34名	121名	73名	60.3%
B：資格の取得	21名	33名	17名	7名	43名	121名	54名	44.6%
C：アルバイト	64名	39名	14名	2名	2名	121名	103名	85.1%
D：ボランティア	11名	20名	5名	1名	84名	121名	31名	25.6%
E：学外実習	26名	33名	5名	1名	56名	121名	59名	48.8%
F：インターンシップ	32名	31名	18名	4名	36名	121名	63名	52.1%

・『C:アルバイト』は「熱心＋やや熱心」の割合が85.1%と最も高く、「取り組んでいない」が2名にとどまるなど、大半の学生が積極的に関与している状況である。

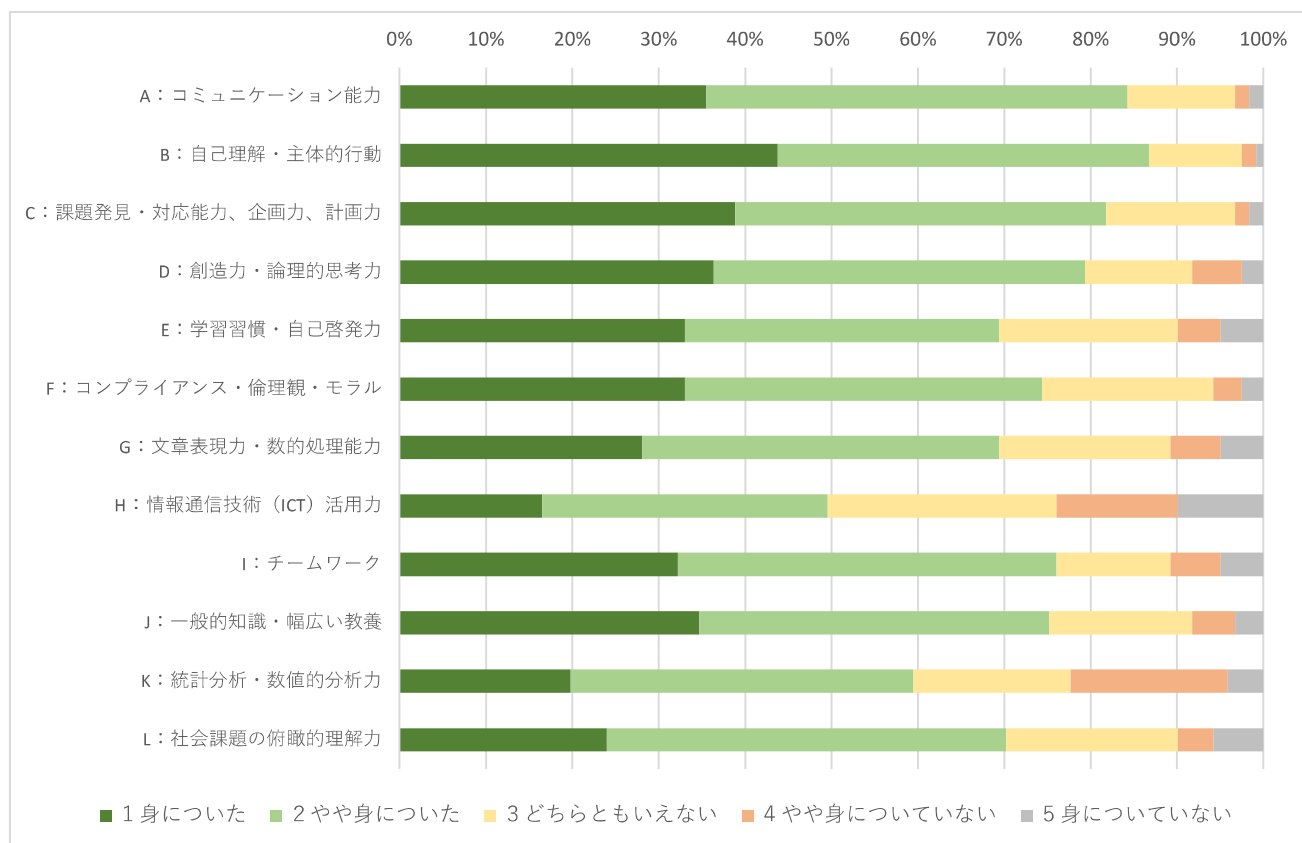
・『D:ボランティア』は「熱心＋やや熱心」の割合が25.6%と最も低く、「取り組んでいない」が84名と突出して多い結果となり、他活動と比較して参加率が著しく低い。

・『A:部活・サークル活動』は「熱心＋やや熱心」の割合は6割にとどまった一方で、「熱心」が「やや熱心」を3.5倍上回る結果であった。

・『B：資格の取得』『E：学外実習』『F：インターンシップ』は「熱心＋やや熱心」の合計数はいずれも50～60名台で、概ね同水準であった。

Q5. 在学中に以下の力はどの程度身に付きましたか。

AからLまでの項目ごとにお答えください。



項目	1 身についた	2 やや身についた	3 どちらともいえない	4 やや身についていない	5 身についていない	合計	1+2合計	1+2割合
A: コミュニケーション能力	43名	59名	15名	2名	2名	121名	102名	84.3%
B: 自己理解・主体的行動	53名	52名	13名	2名	1名	121名	105名	86.8%
C: 課題発見・対応能力、企画力、計画力	47名	52名	18名	2名	2名	121名	99名	81.8%
D: 創造力・論理的思考力	44名	52名	15名	7名	3名	121名	96名	79.3%
E: 学習習慣・自己啓発力	40名	44名	25名	6名	6名	121名	84名	69.4%
F: コンプライアンス・倫理観・モラル	40名	50名	24名	4名	3名	121名	90名	74.4%
G: 文章表現力・数的処理能力	34名	50名	24名	7名	6名	121名	84名	69.4%
H: 情報通信技術 (ICT) 活用力	20名	40名	32名	17名	12名	121名	60名	49.6%
I: チームワーク	39名	53名	16名	7名	6名	121名	92名	76.0%
J: 一般的知識・幅広い教養	42名	49名	20名	6名	4名	121名	91名	75.2%
K: 統計分析・数値的分析力	24名	48名	22名	22名	5名	121名	72名	59.5%
L: 社会課題の俯瞰的理解力	29名	56名	24名	5名	7名	121名	85名	70.2%

・『A: コミュニケーション能力』や『B: 自己理解・主体的行動』は「身についた + やや身についた」の割合がそれぞれ約8割と高く、多くの学生が身についたと認識している。

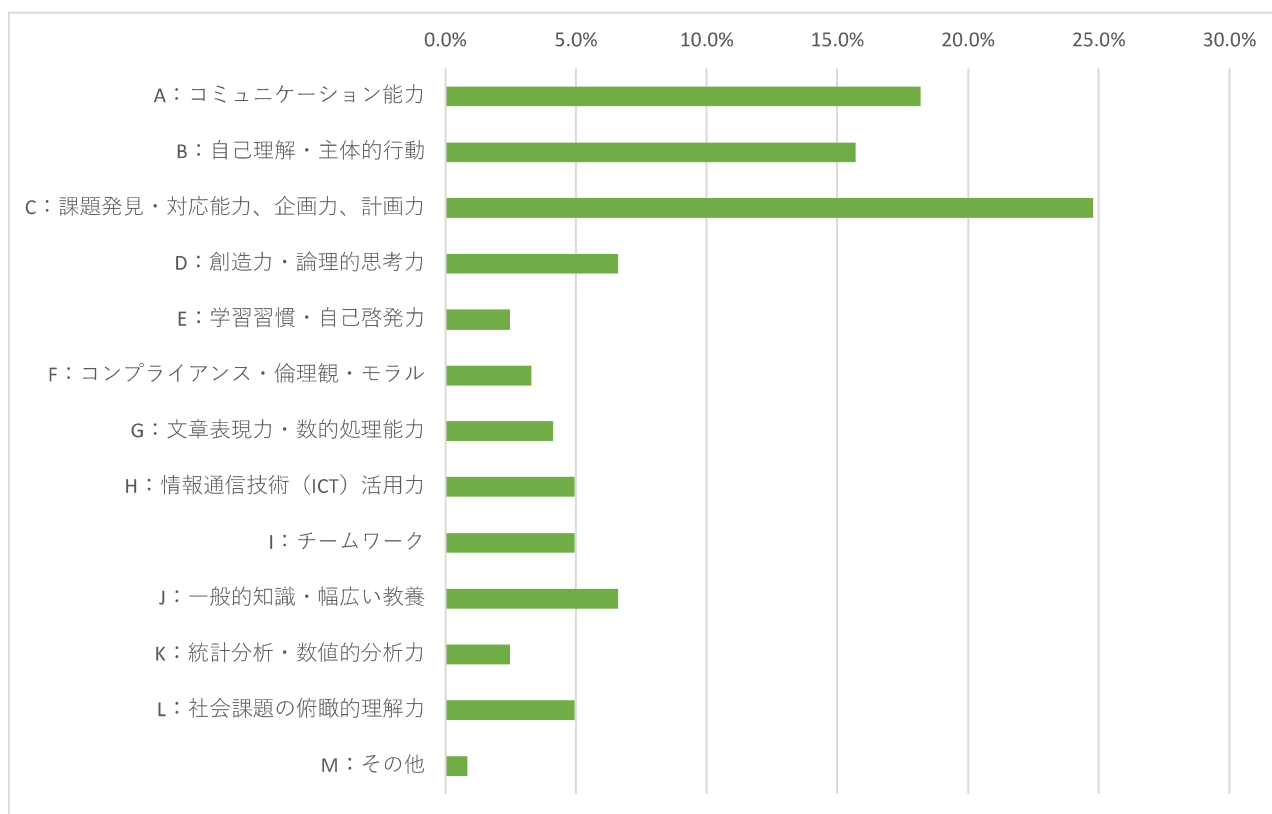
・『H: 情報通信技術 (ICT) 活用力』は49.6%で唯一5割を下回っており、「どちらともいえない」32名、「身についていない」「やや身についていない」が計29名と回答が分散している。

・『A: コミュニケーション能力』や『B: 自己理解・主体的行動』などの汎用的能力は高い結果となったが、一方で『H: 情報通信技術 (ICT) 活用力』や『K: 統計分析・数値的分析力』などのデジタル・数理系能力については相対的に低い結果となっている。

Q5. その他、A～L以外で身に付いたことがあれば、お知らせください。

項目		5名
栽培技術		1名
持続力		1名
胆力、継続力		1名
農学に関する知識		1名
理不尽への耐性		1名

Q6. 本学で学ぶ学生が特に身につけた方が良いと思う力はなんですか。ひとつお選びください。



項目	人数	比率
A : コミュニケーション能力	22名	18.2%
B : 自己理解・主体的行動	19名	15.7%
C : 課題発見・対応能力、企画力、計画力	30名	24.8%
D : 創造力・論理的思考力	8名	6.6%
E : 学習習慣・自己啓発力	3名	2.5%
F : コンプライアンス・倫理観・モラル	4名	3.3%
G : 文章表現力・数的処理能力	5名	4.1%
H : 情報通信技術（ICT）活用力	6名	5.0%
I : チームワーク	6名	5.0%
J : 一般的知識・幅広い教養	8名	6.6%
K : 統計分析・数値的分析力	3名	2.5%
L : 社会課題の俯瞰的理解力	6名	5.0%
M : その他	1名	0.8%
合計	121名	100.0%

・『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』が24.8%で最も多く選択された。

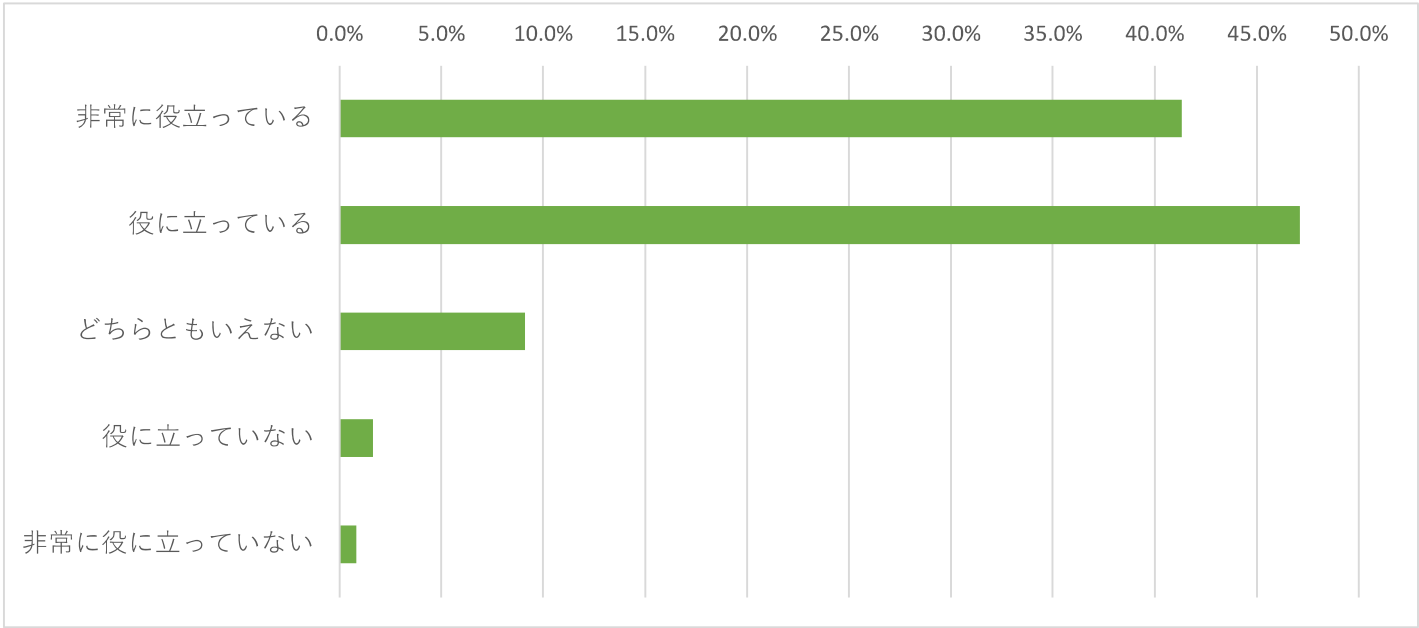
次いで『A：コミュニケーション能力』『B：自己理解・主体的行動』という結果となった。

・『B：自己理解・主体的行動』は、「Q5：在学中に身についた力」の設問では「身についた」の回答が最も多かった一方で、「Q6：身につけた方が良いと思う力」では15.7%で3位となっている。

Q6. Mその他を選択した方はどのような能力が必要か、具体的にお知らせください

項目（その他選択の方の意見）		1人
学部ごとに特化した専門的な知識		1人
項目（その他選択以外の方のご意見）	選択項目	1人
植物や環境に対する知識	J：一般的知識・幅広い教養	1人

Q7. 卒業後から今日までを振り返り、本学の教育をどのように評価しますか。



項目	人数	比率
非常に役立っている	50名	41.3%
役に立っている	57名	47.1%
どちらともいえない	11名	9.1%
役に立っていない	2名	1.7%
非常に役に立っていない	1名	0.8%
合計	121名	100.0%

・本学の教育評価については、「非常に役立っている」が50名（41.3%）、「役に立っている」が57名（47.1%）で、合計107名（88.4%）が本学の教育が卒業後に役立っていると評価した。

・一方で「役に立っていない」が2名（1.7%）、「非常に役に立っていない」が1名（0.8%）であり、少数ながら否定的な評価も見られた。

卒業生のキャリア状況調査に対する アンケート結果について

【就職先企業対象】

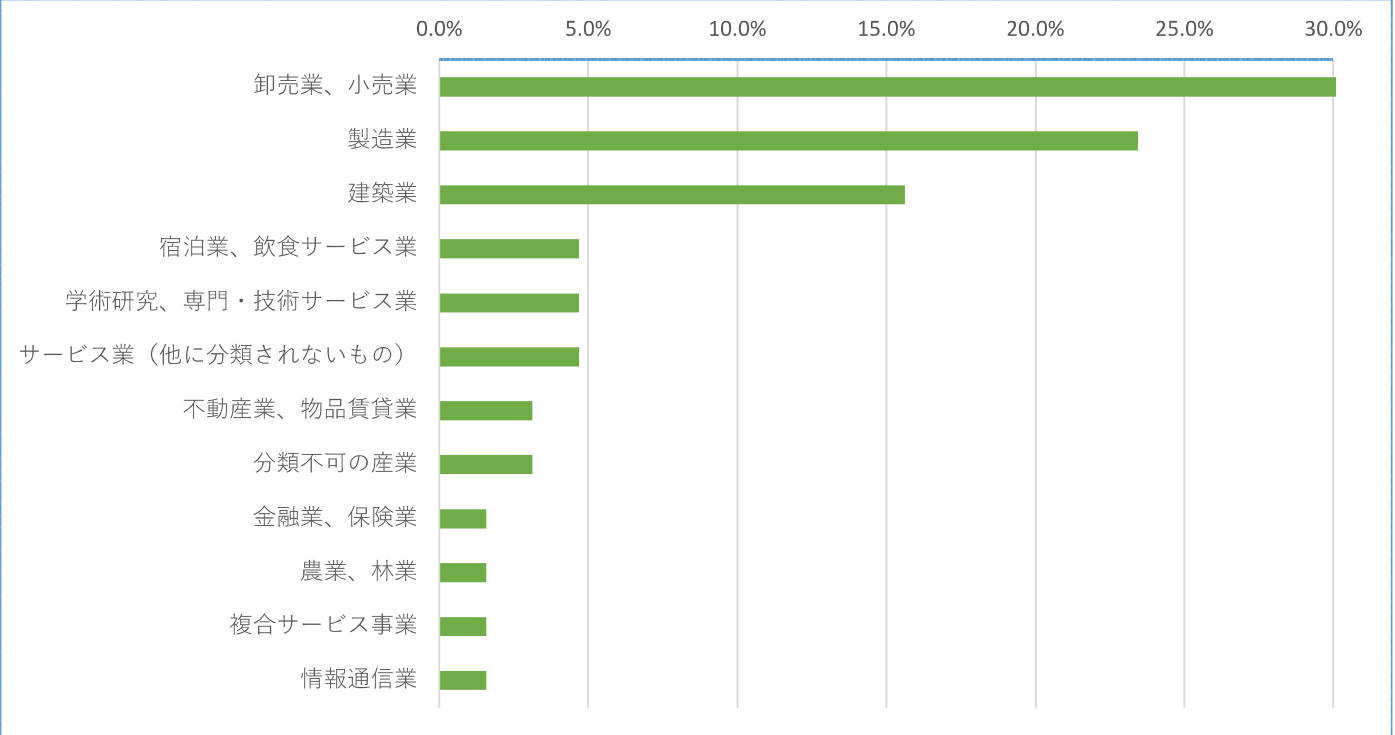
本アンケートは、東京農業大学の卒業生及び卒業生の就職先企業における働く上で必要とされている能力や経験、本学に対するお考え等をお伺いし、その結果を本学の教育改革に適切に反映して、教育の質向上を図ることを目的としたものです。

■ 調査概要

調査対象	令和6年度卒業生の就業先企業のうち、メールアドレスが判明した企業様
調査期間	2026年5月15日～6月14日（31日間）
調査方法	①作成したメーリングリストに基づき、アンケート協力依頼メールを配信 ②依頼メール記載のURLへアクセス頂き、回答 ※Microsoft Formsを利用 ※無記名方式にて実施
調査依頼数	200社（前回※1：137社）
回答数	64社（前回：37社）
回答率	32.0%（前回27：0%）
質問項目数	18問（前回：18問）
平均回答時間	12分53秒（前回：10分13秒）

※ 1：2025年5月15日～2025年6月14日実施の前回調査を指す

FACE 1. 貴社・貴団体の業種をお知らせください。

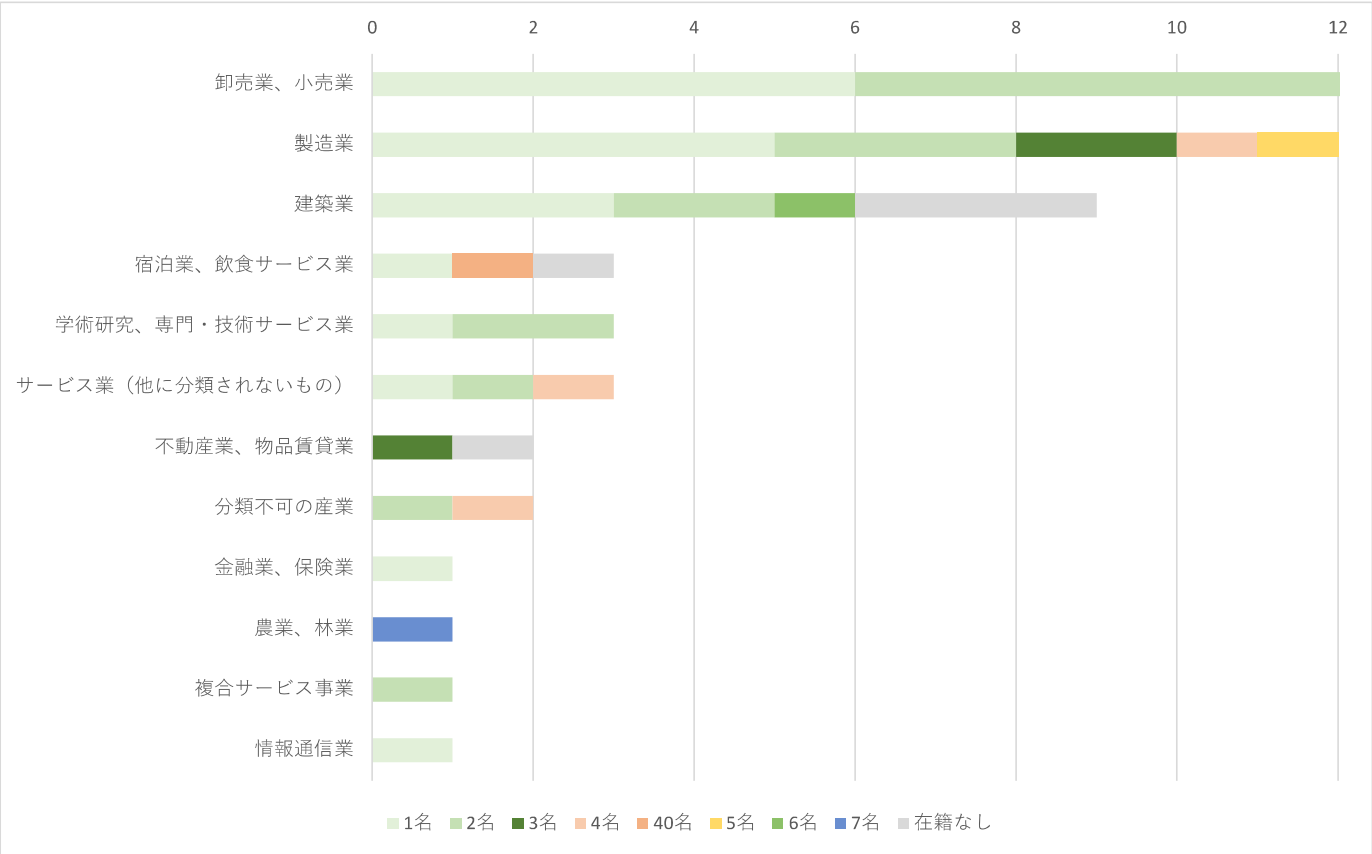


項目	合計	比率
卸売業、小売業	22社	34.4%
製造業	15社	23.4%
建築業	10社	15.6%
宿泊業、飲食サービス業	3社	4.7%
学術研究、専門・技術サービス業	3社	4.7%
サービス業（他に分類されないもの）	3社	4.7%
不動産業、物品賃貸業	2社	3.1%
分類不可の産業	2社	3.1%
金融業、保険業	1社	1.6%
農業、林業	1社	1.6%
複合サービス事業	1社	1.6%
情報通信業	1社	1.6%
合計	64社	100%

【FACE情報①】

- ・全体では12業種の企業様よりご協力頂いた。（前回より2業種増）
- ・最も多かった業種は『卸売業、小売業』の22社（34.4%）、次いで『製造業』の15社（23.4%）『建築業』10社（15.6%）。上位3業種で全体の70%を占めた。

F2. 令和7年度入社の本学卒業生の在籍人数をお教えてください。

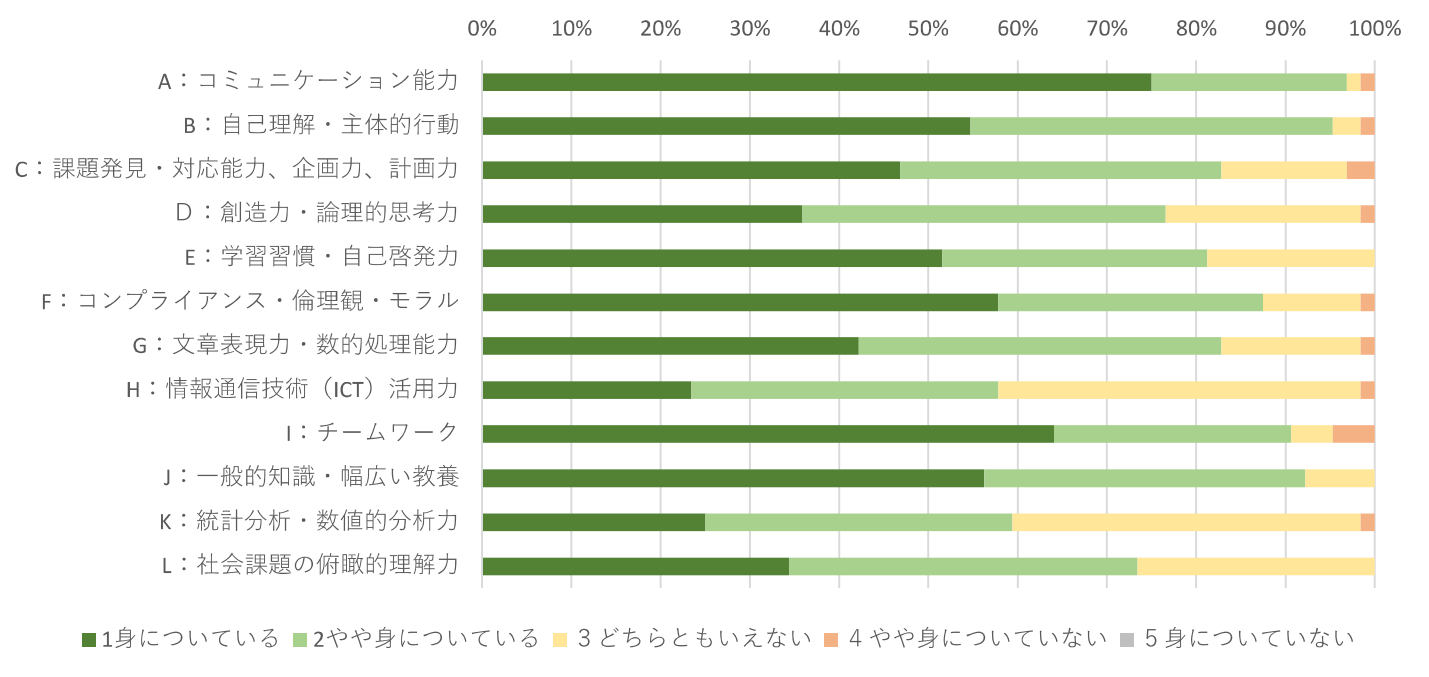


項目	1名	2名	3名	4名	5名	6名	7名	8名	40名	在籍なし	人数
卸売業、小売業	6社	9社	3社			1社				3社	22社
製造業	5社	3社	2社	1社	2社		1社			1社	15社
建築業	3社	2社				1社		1社		3社	10社
宿泊業、飲食サービス業	1社								1社	1社	3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	2社									3社
サービス業（他に分類されないもの）	1社	1社		1社							3社
不動産業、物品賃貸業			1社							1社	2社
分類不可の産業		1社		1社							2社
金融業、保険業	1社										1社
農業、林業							1社				1社
複合サービス事業		1社									1社
情報通信業	1社										1社
合計	19社	19社	6社	3社	2社	2社	2社	1社	1社	9社	64社
比率	29.7%	29.7%	9.4%	4.7%	3.1%	3.1%	3.1%	1.6%	1.6%	14.1%	100.0%

【FACE情報②】

- ・卒業生の在籍数では「1名」「2名」がそれぞれ19社で最多であり、両者を合わせると38社（59.4％）を占めた。
- ・『宿泊業、飲食サービス業』にて「40名」という回答が各1社あり。
- ・また、「0名（在籍なし）」と回答いただいた企業も9社あった。

Q1. 次の質問に掲げる能力・資質は、中央教育審議会答申や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を類型化したものです。東京農業大学の卒業生・修了生が次の表の能力・資質を身に付けているかについて、AからLの項目ごとに該当する回答をご選択ください。



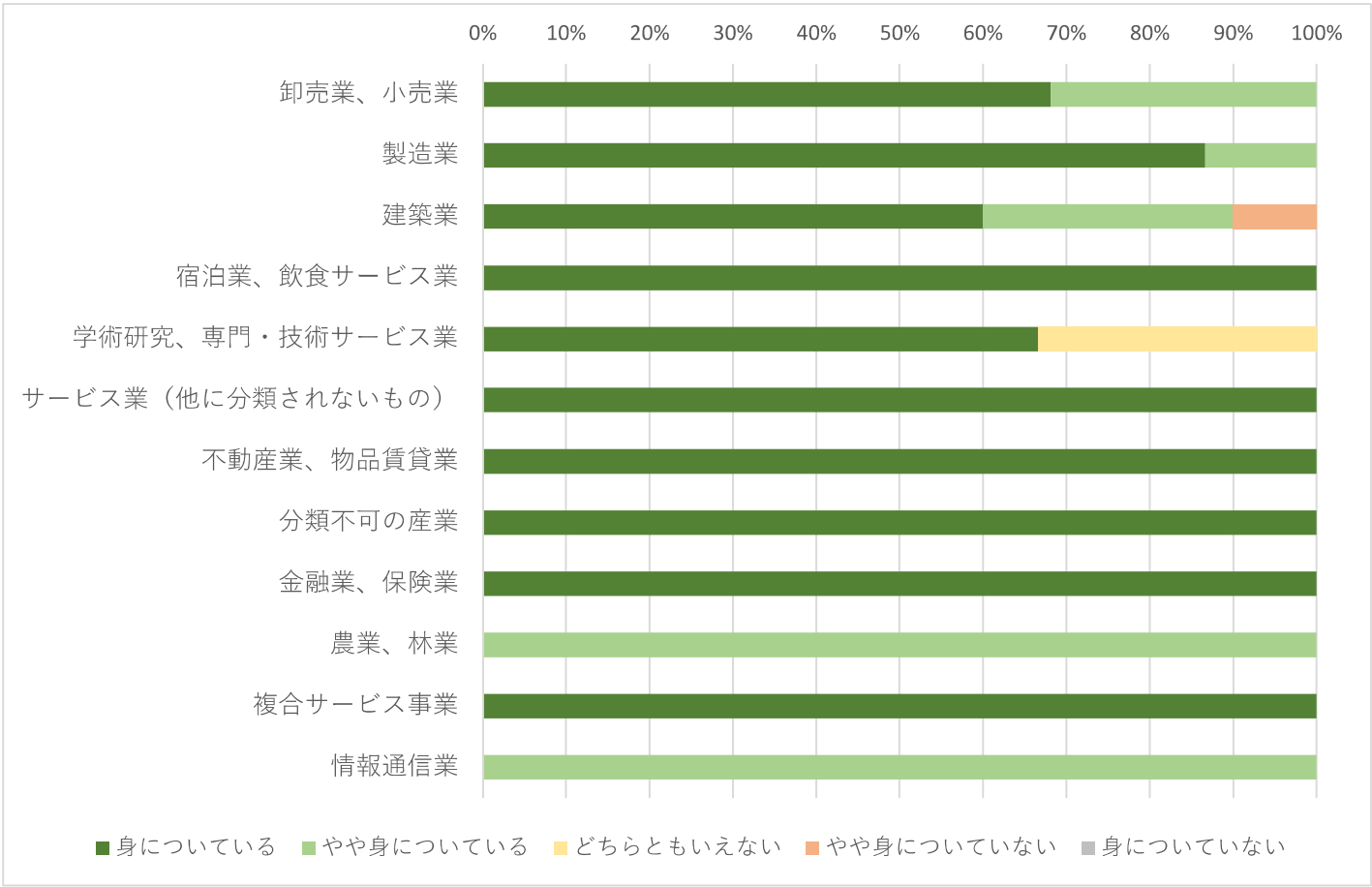
項目	1身についている	2やや身についている	3どちらともいえない	4やや身についていない	5身についていない	合計	1 + 2 比率
A：コミュニケーション能力	48社	14社	1社	1社		64社	96.9%
B：自己理解・主体的行動	35社	26社	2社	1社		64社	95.3%
C：課題発見・対応能力、企画力、計画力	30社	23社	9社	2社		64社	82.8%
D：創造力・論理的思考力	23社	26社	14社	1社		64社	76.6%
E：学習習慣・自己啓発力	33社	19社	12社			64社	81.3%
F：コンプライアンス・倫理観・モラル	37社	19社	7社	1社		64社	87.5%
G：文章表現力・数的処理能力	27社	26社	10社	1社		64社	82.8%
H：情報通信技術（ICT）活用力	15社	22社	26社	1社		64社	57.8%
I：チームワーク	41社	17社	3社	3社		64社	90.6%
J：一般的知識・幅広い教養	36社	23社	5社			64社	92.2%
K：統計分析・数値的分析力	16社	22社	25社	1社		64社	59.4%
L：社会課題の俯瞰的理解力	22社	25社	17社			64社	73.4%

- ・『A：コミュニケーション能力』と『B：自己理解・主体的行動』については、95.0%以上が身についている寄りの回答。
 - ↳ 上記2項目を含め、8項目で80.0%以上が「身についている」「やや身についている」と回答した。
- ・『H：情報通信技術（ICT）活用力』『K：統計分析・数値的分析力』については、
「3どちらともいえない」がそれぞれ26社、25社と多くなっている。
- ・また「4 やや身についていない」と回答した企業が計12社。2社以上回答があったのは下記2項目
 - ↳ 『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』は「建築業」2社
 - ↳ 『I：チームワーク』は「卸売業、小売業」3社。

Q1. A～L以外で身に付けていたことがあれば、お知らせください。

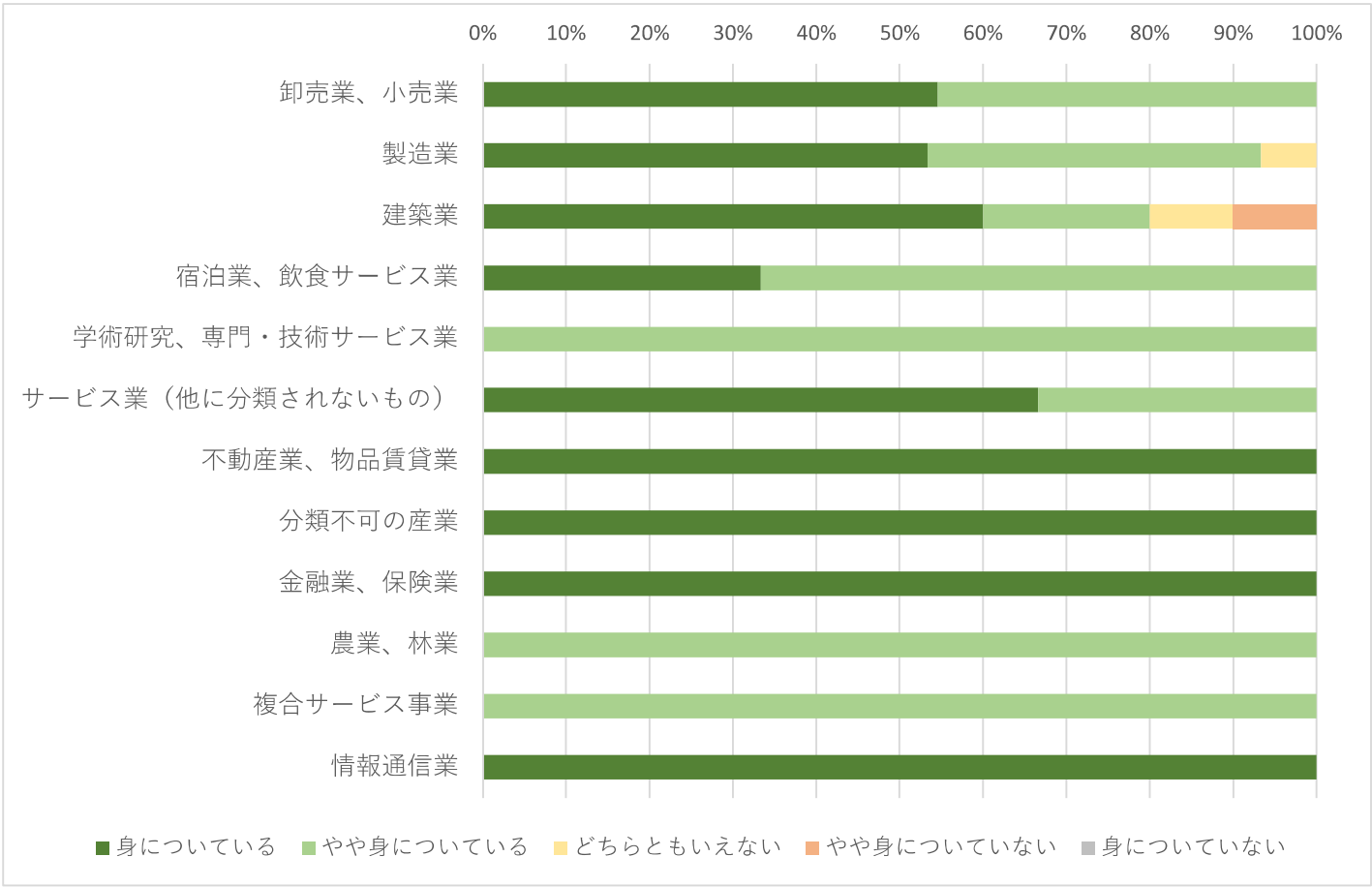
項目	業種	7社
社交性	製造業	1社
食品業界への志望度、熱意	製造業	1社
リーダーシップ	建築業	1社
植物の知識	建築業	1社
木材関連の深い知識を身に着けている方が多く、 弊社プレカット事業でご活躍いただいております。	建築業	1社
環境適応能力・ストレスマネジメント	卸売業、小売業	1社
社会人としてのマナー	卸売業、小売業	1社

Q1. A：コミュニケーション能力（業種別傾向）



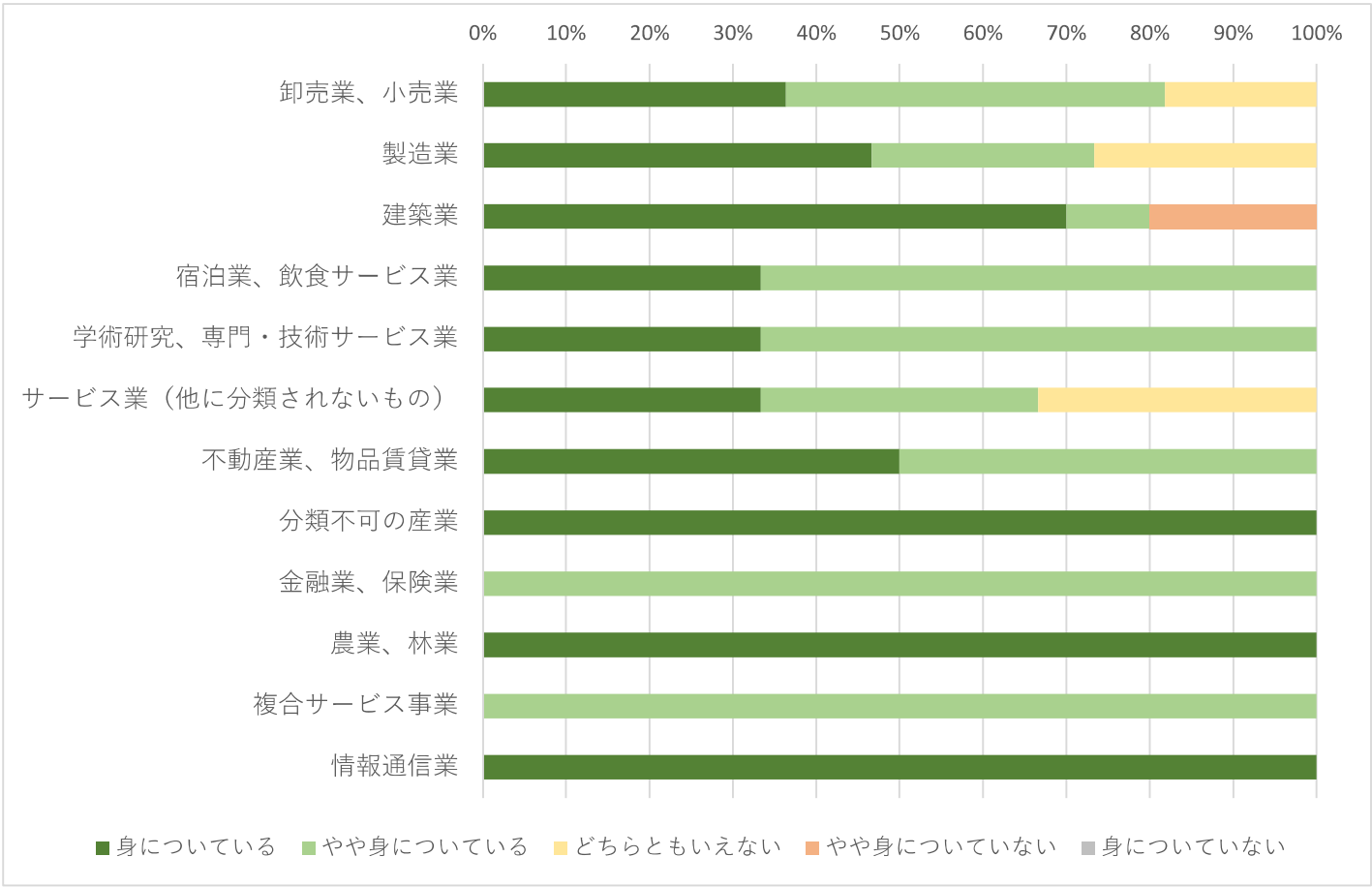
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	15社	7社	0社	0社		22社
製造業	13社	2社	0社	0社		15社
建築業	6社	3社	0社	1社		10社
宿泊業、飲食サービス業	3社	0社	0社	0社		3社
学術研究、専門・技術サービス業	2社	0社	1社	0社		3社
サービス業（他に分類されないもの）	3社	0社	0社	0社		3社
不動産業、物品賃貸業	2社	0社	0社	0社		2社
分類不可の産業	2社	0社	0社	0社		2社
金融業、保険業	1社	0社	0社	0社		1社
農業、林業	0社	1社	0社	0社		1社
複合サービス事業	1社	0社	0社	0社		1社
情報通信業	0社	1社	0社	0社		1社
合計	48社	14社	1社	1社	0社	64社
比率	75.0%	21.9%	1.6%	1.6%	0.0%	100.0%

Q1. B：自己理解・主体的行動（業種別傾向）



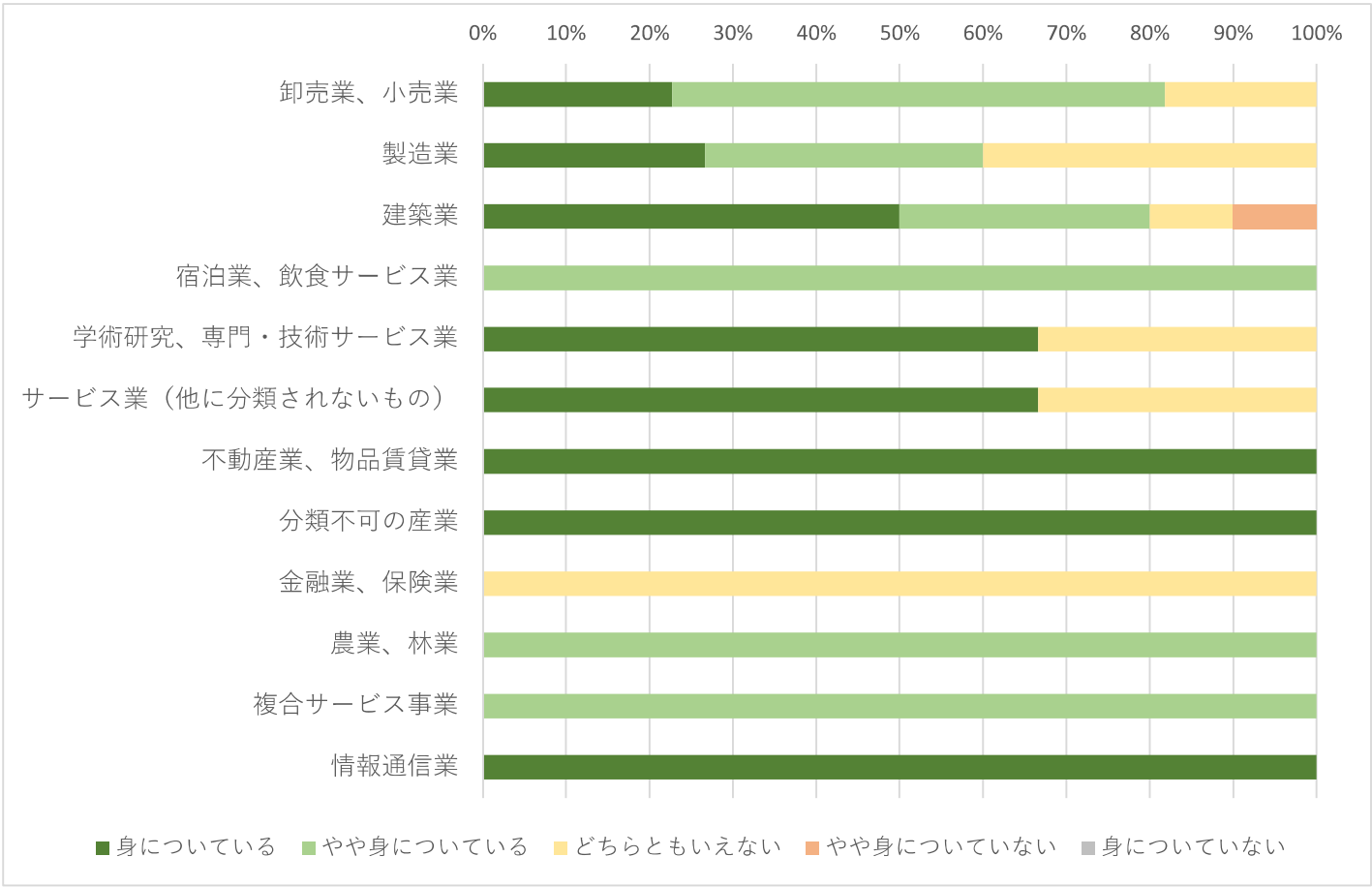
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	12社	10社	0社	0社		22社
製造業	8社	6社	1社	0社		15社
建築業	6社	2社	1社	1社		10社
宿泊業、飲食サービス業	1社	2社	0社	0社		3社
学術研究、専門・技術サービス業	0社	3社	0社	0社		3社
サービス業（他に分類されないもの）	2社	1社	0社	0社		3社
不動産業、物品賃貸業	2社	0社	0社	0社		2社
分類不可の産業	2社	0社	0社	0社		2社
金融業、保険業	1社	0社	0社	0社		1社
農業、林業	0社	1社	0社	0社		1社
複合サービス事業	0社	1社	0社	0社		1社
情報通信業	1社	0社	0社	0社		1社
合計	35社	26社	2社	1社	0社	64社
比率	54.7%	40.6%	3.1%	1.6%	0.0%	100.0%

Q1. C：課題発見・対応能力、企画力、計画力（業種別傾向）



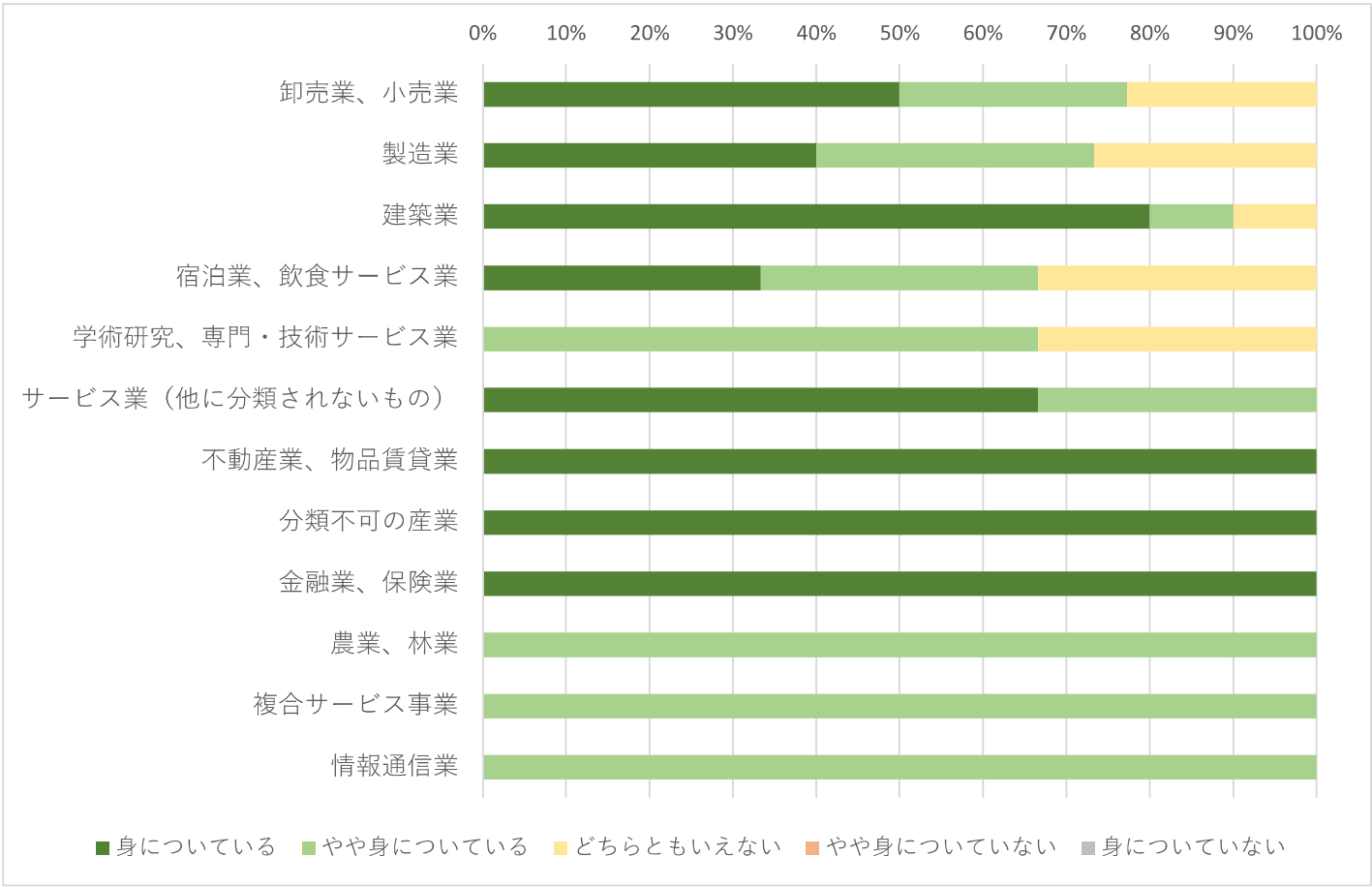
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	8社	10社	4社	0社		22社
製造業	7社	4社	4社	0社		15社
建築業	7社	1社	0社	2社		10社
宿泊業、飲食サービス業	1社	2社	0社	0社		3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	2社	0社	0社		3社
サービス業（他に分類されないもの）	1社	1社	1社	0社		3社
不動産業、物品賃貸業	1社	1社	0社	0社		2社
分類不可の産業	2社	0社	0社	0社		2社
金融業、保険業	0社	1社	0社	0社		1社
農業、林業	1社	0社	0社	0社		1社
複合サービス事業	0社	1社	0社	0社		1社
情報通信業	1社	0社	0社	0社		1社
合計	30社	23社	9社	2社	0社	64社
比率	46.9%	35.9%	14.1%	3.1%	0.0%	100.0%

Q1. D：創造力・論理的思考力（業種別傾向）



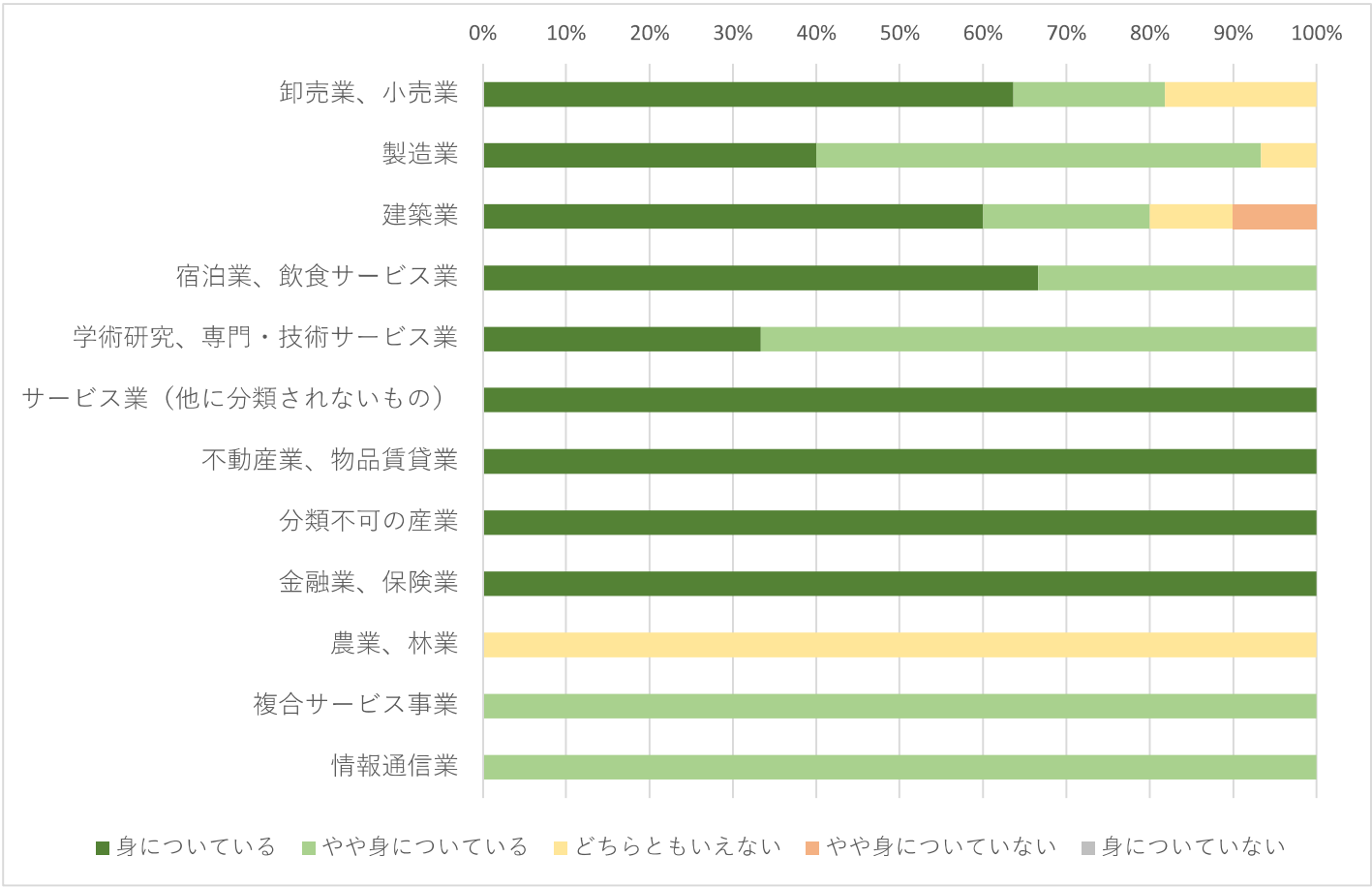
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	5社	13社	4社	0社		22社
製造業	4社	5社	6社	0社		15社
建築業	5社	3社	1社	1社		10社
宿泊業、飲食サービス業	0社	3社	0社	0社		3社
学術研究、専門・技術サービス業	2社	0社	1社	0社		3社
サービス業（他に分類されないもの）	2社	0社	1社	0社		3社
不動産業、物品賃貸業	2社	0社	0社	0社		2社
分類不可の産業	2社	0社	0社	0社		2社
金融業、保険業	0社	0社	1社	0社		1社
農業、林業	0社	1社	0社	0社		1社
複合サービス事業	0社	1社	0社	0社		1社
情報通信業	1社	0社	0社	0社		1社
合計	23社	26社	14社	1社	0社	64社
比率	35.9%	40.6%	21.9%	1.6%	0.0%	100.0%

Q1. E：学習習慣・自己啓発力（業種別傾向）



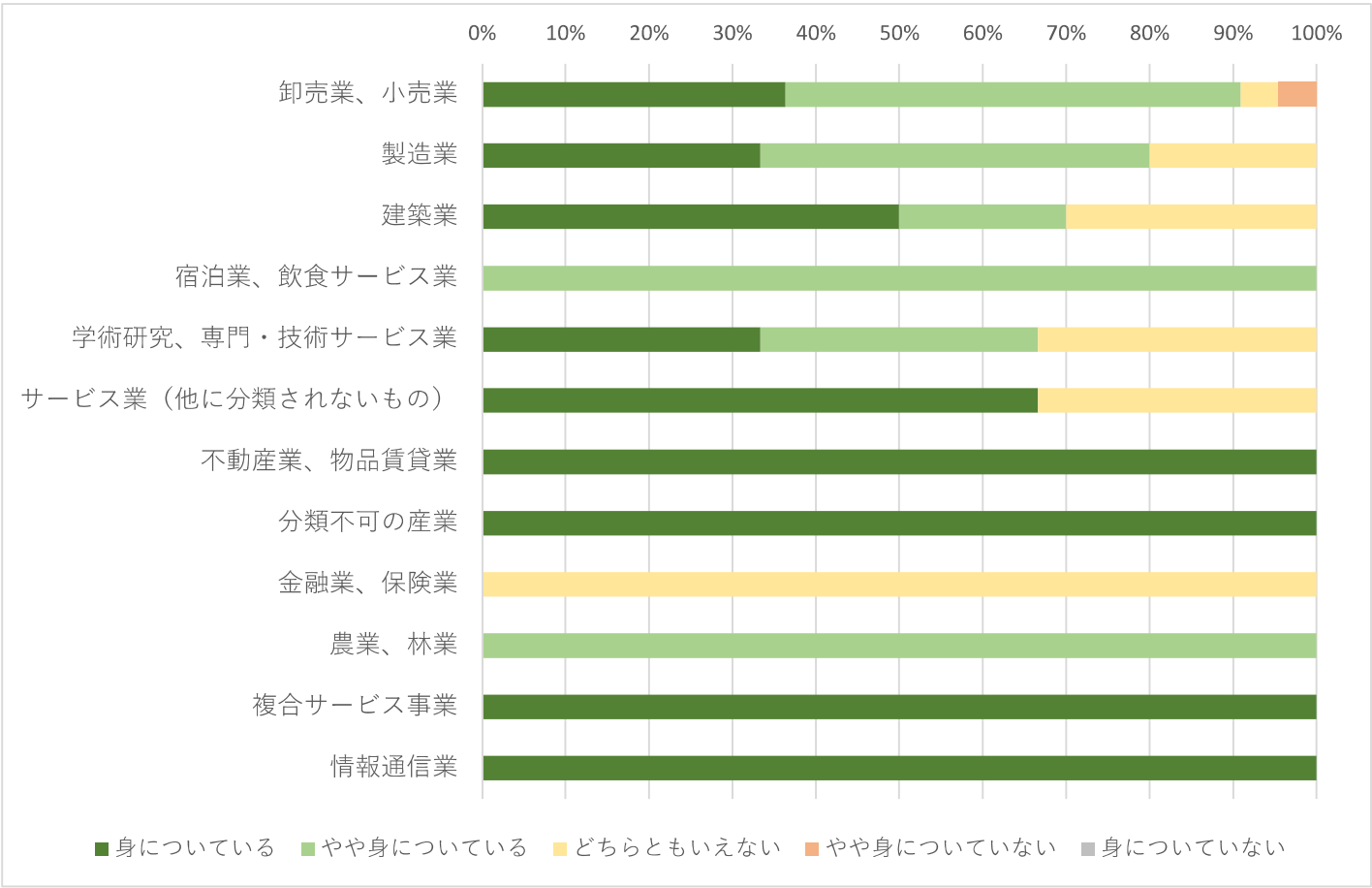
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	11社	6社	5社			22社
製造業	6社	5社	4社			15社
建築業	8社	1社	1社			10社
宿泊業、飲食サービス業	1社	1社	1社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	0社	2社	1社			3社
サービス業（他に分類されないもの）	2社	1社	0社			3社
不動産業、物品賃貸業	2社	0社	0社			2社
分類不可の産業	2社	0社	0社			2社
金融業、保険業	1社	0社	0社			1社
農業、林業	0社	1社	0社			1社
複合サービス事業	0社	1社	0社			1社
情報通信業	0社	1社	0社			1社
合計	33社	19社	12社	0社	0社	64社
比率	51.6%	29.7%	18.8%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. F：コンプライアンス・倫理観・モラル（業種別傾向）



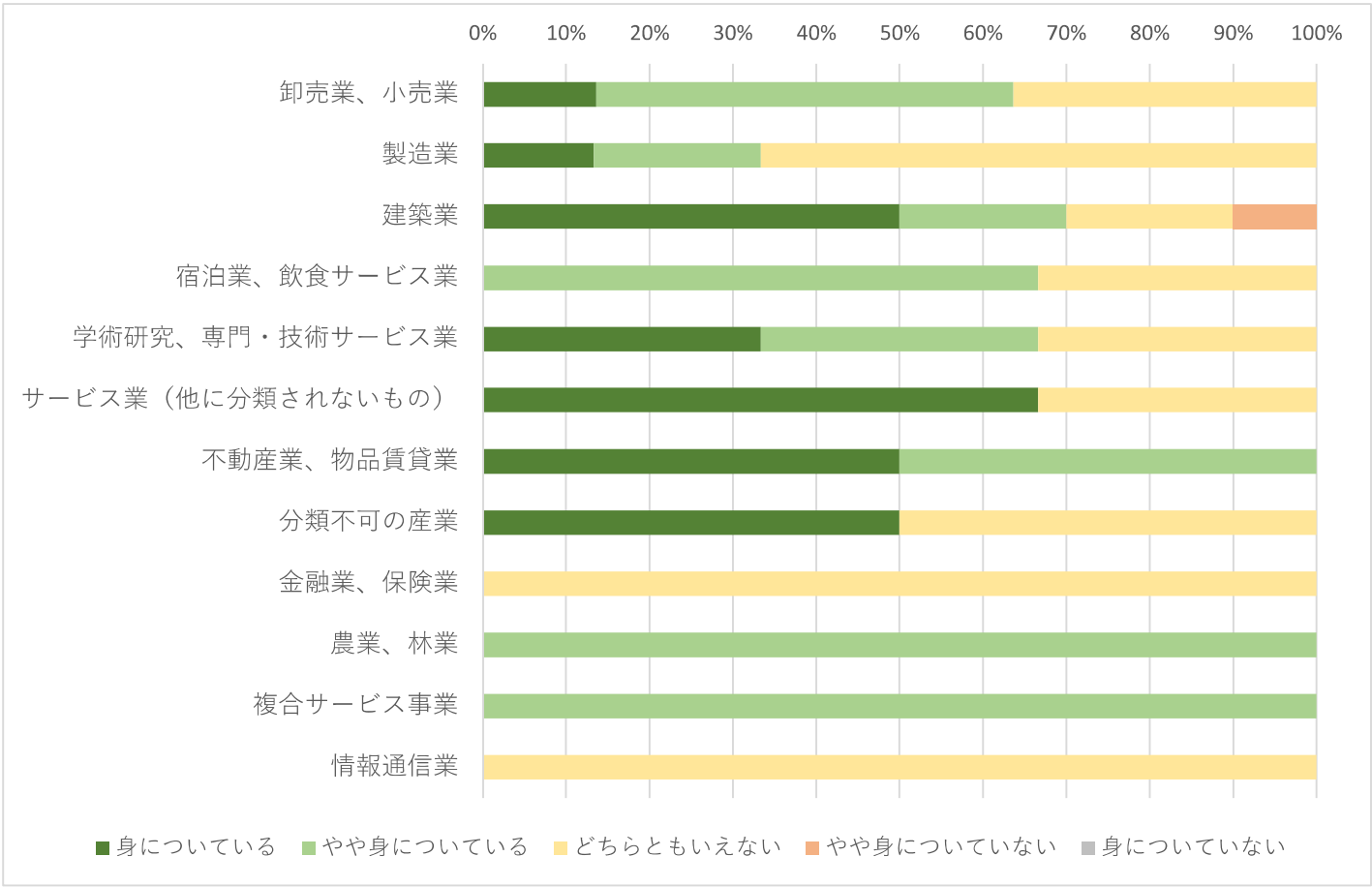
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	14社	4社	4社	0社		22社
製造業	6社	8社	1社	0社		15社
建築業	6社	2社	1社	1社		10社
宿泊業、飲食サービス業	2社	1社	0社	0社		3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	2社	0社	0社		3社
サービス業（他に分類されないもの）	3社	0社	0社	0社		3社
不動産業、物品賃貸業	2社	0社	0社	0社		2社
分類不可の産業	2社	0社	0社	0社		2社
金融業、保険業	1社	0社	0社	0社		1社
農業、林業	0社	0社	1社	0社		1社
複合サービス事業	0社	1社	0社	0社		1社
情報通信業	0社	1社	0社	0社		1社
合計	37社	19社	7社	1社	0社	64社
比率	57.8%	29.7%	10.9%	1.6%	0.0%	100.0%

Q1. G : 文章表現力・数的処理能力（業種別傾向）



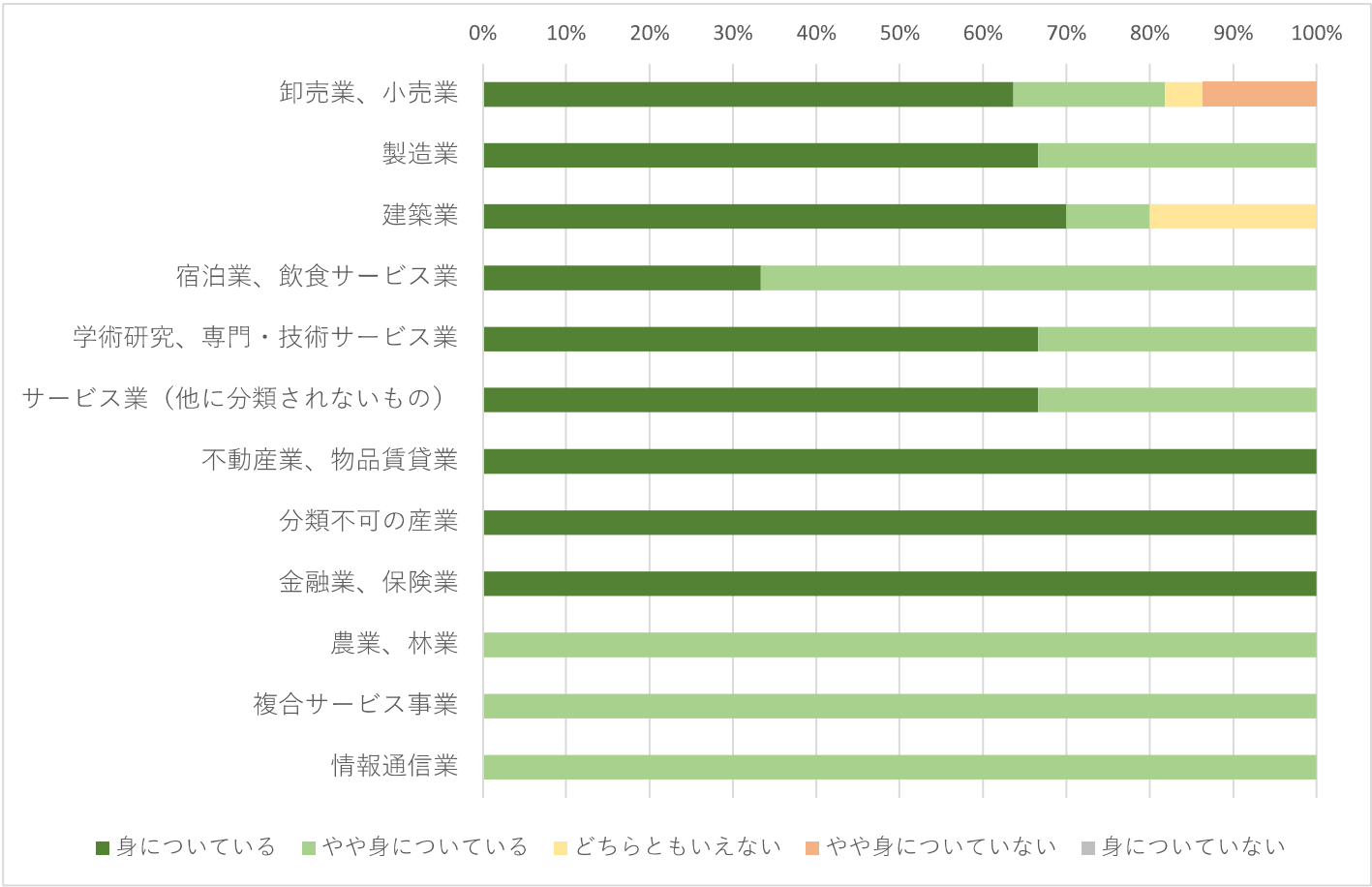
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	8社	12社	1社	1社		22社
製造業	5社	7社	3社	0社		15社
建築業	5社	2社	3社	0社		10社
宿泊業、飲食サービス業	0社	3社	0社	0社		3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社	1社	0社		3社
サービス業（他に分類されないもの）	2社	0社	1社	0社		3社
不動産業、物品賃貸業	2社	0社	0社	0社		2社
分類不可の産業	2社	0社	0社	0社		2社
金融業、保険業	0社	0社	1社	0社		1社
農業、林業	0社	1社	0社	0社		1社
複合サービス事業	1社	0社	0社	0社		1社
情報通信業	1社	0社	0社	0社		1社
合計	27社	26社	10社	1社	0社	64社
比率	42.2%	40.6%	15.6%	1.6%	0.0%	100.0%

Q1. H：情報通信技術（ICT）活用力（業種別傾向）



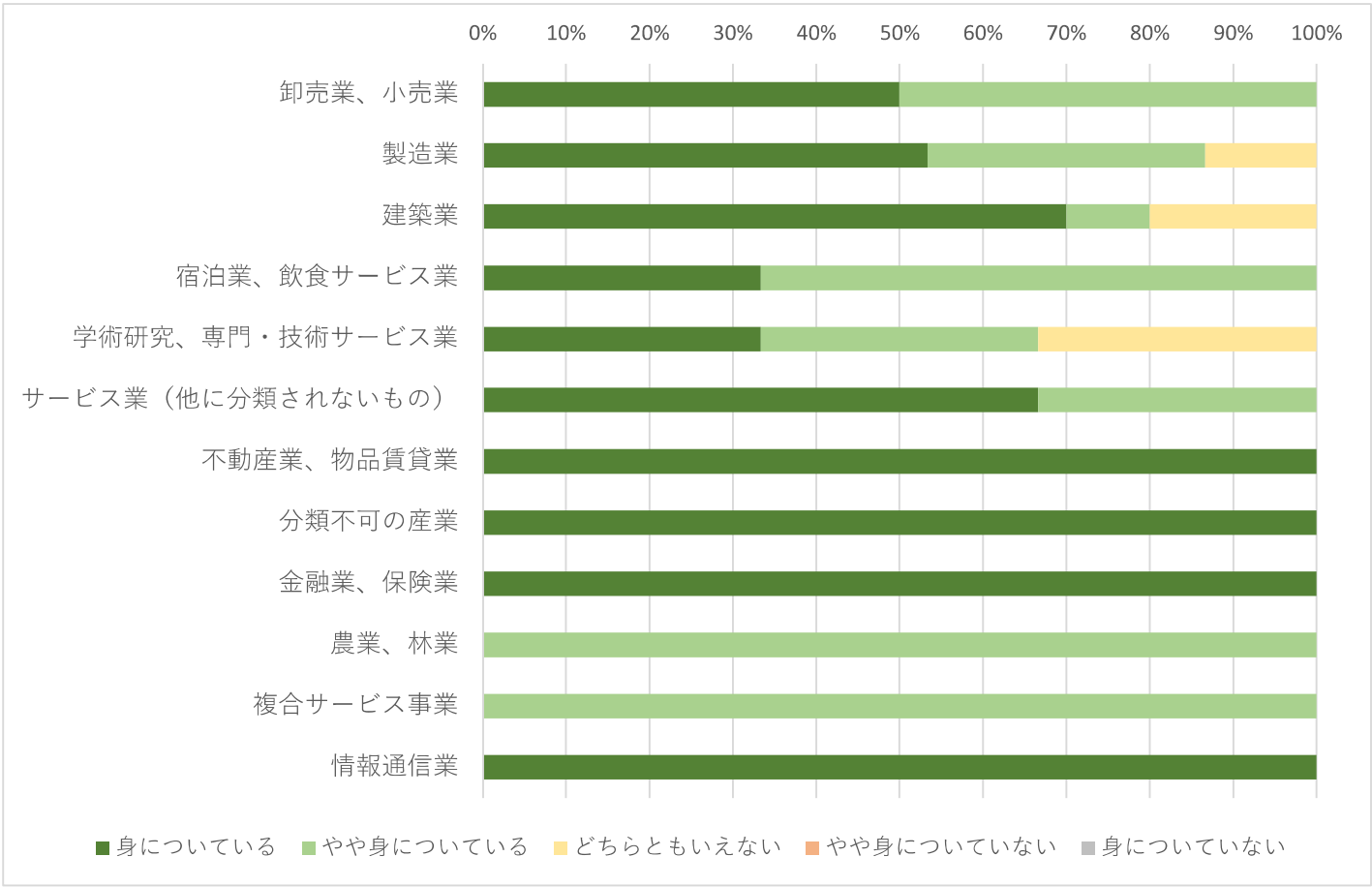
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	3社	11社	8社	0社		22社
製造業	2社	3社	10社	0社		15社
建築業	5社	2社	2社	1社		10社
宿泊業、飲食サービス業	0社	2社	1社	0社		3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社	1社	0社		3社
サービス業（他に分類されないもの）	2社	0社	1社	0社		3社
不動産業、物品賃貸業	1社	1社	0社	0社		2社
分類不可の産業	1社	0社	1社	0社		2社
金融業、保険業	0社	0社	1社	0社		1社
農業、林業	0社	1社	0社	0社		1社
複合サービス事業	0社	1社	0社	0社		1社
情報通信業	0社	0社	1社	0社		1社
合計	15社	22社	26社	1社	0社	64社
比率	23.4%	34.4%	40.6%	1.6%	0.0%	100.0%

Q1. I：チームワーク（業種別傾向）



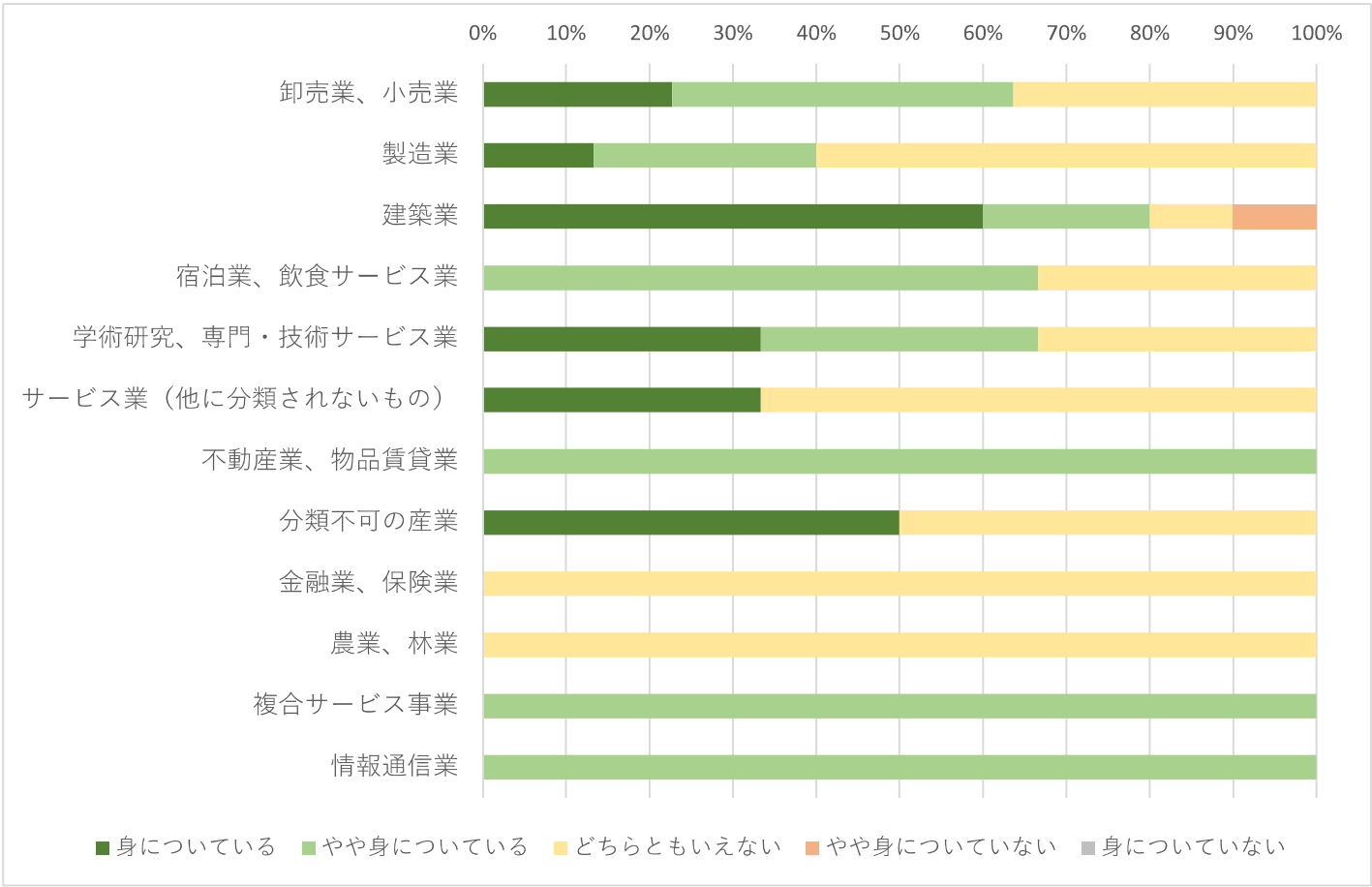
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	14社	4社	1社	3社		22社
製造業	10社	5社	0社	0社		15社
建築業	7社	1社	2社	0社		10社
宿泊業、飲食サービス業	1社	2社	0社	0社		3社
学術研究、専門・技術サービス業	2社	1社	0社	0社		3社
サービス業（他に分類されないもの）	2社	1社	0社	0社		3社
不動産業、物品賃貸業	2社	0社	0社	0社		2社
分類不可の産業	2社	0社	0社	0社		2社
金融業、保険業	1社	0社	0社	0社		1社
農業、林業	0社	1社	0社	0社		1社
複合サービス事業	0社	1社	0社	0社		1社
情報通信業	0社	1社	0社	0社		1社
合計	41社	17社	3社	3社	0社	64社
比率	64.1%	26.6%	4.7%	4.7%	0.0%	100.0%

Q1. J：一般的知識・幅広い教養（業種別傾向）



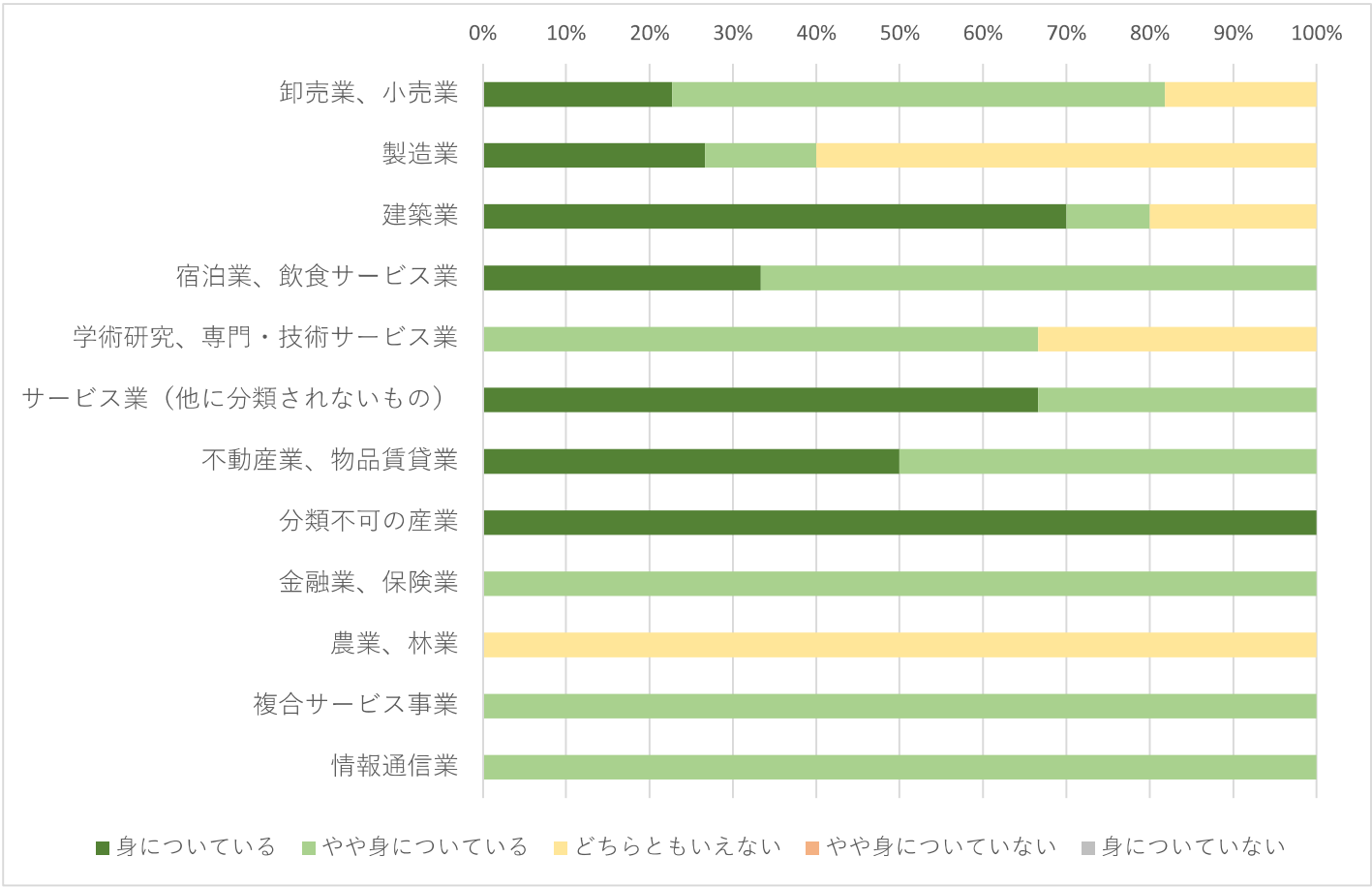
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	11社	11社	0社			22社
製造業	8社	5社	2社			15社
建築業	7社	1社	2社			10社
宿泊業、飲食サービス業	1社	2社	0社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社	1社			3社
サービス業（他に分類されないもの）	2社	1社	0社			3社
不動産業、物品賃貸業	2社	0社	0社			2社
分類不可の産業	2社	0社	0社			2社
金融業、保険業	1社	0社	0社			1社
農業、林業	0社	1社	0社			1社
複合サービス事業	0社	1社	0社			1社
情報通信業	1社	0社	0社			1社
合計	36社	23社	5社	0社	0社	64社
比率	56.3%	35.9%	7.8%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. K：統計分析・数值的分析力（業種別傾向）



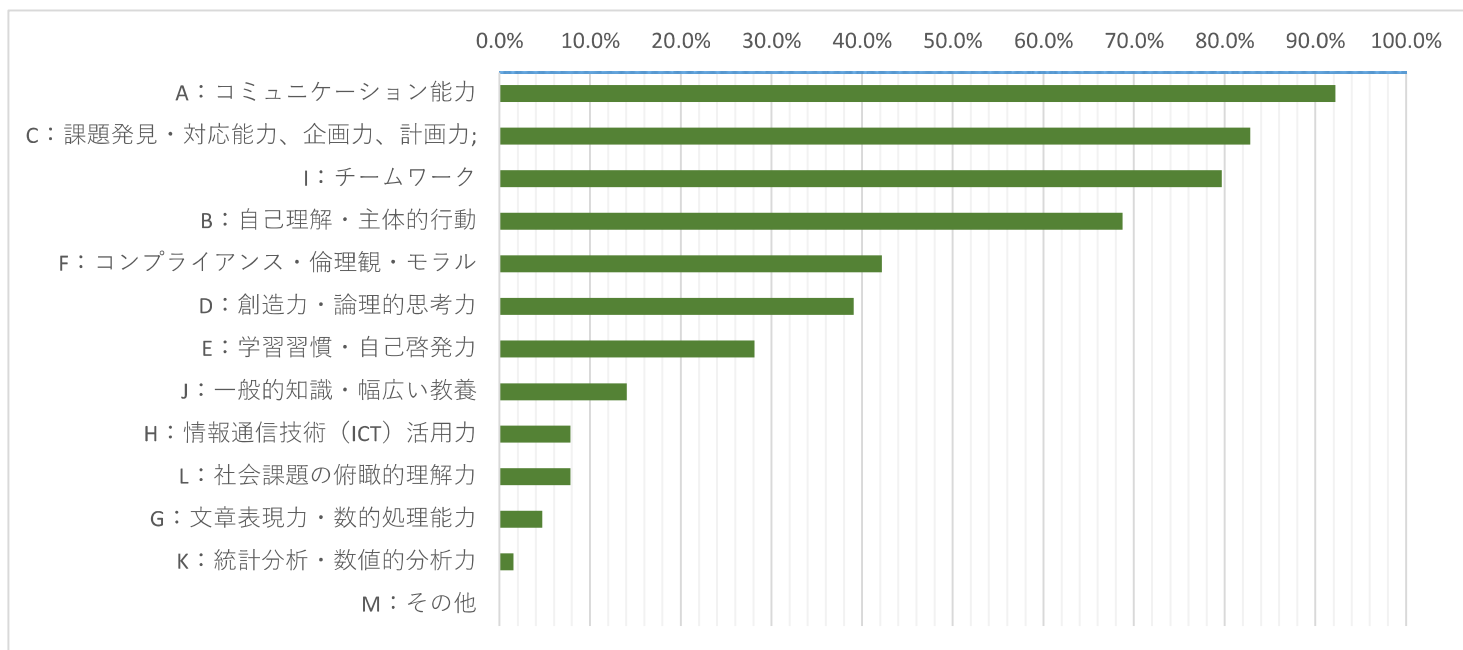
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	5社	9社	8社	0社		22社
製造業	2社	4社	9社	0社		15社
建築業	6社	2社	1社	1社		10社
宿泊業、飲食サービス業	0社	2社	1社	0社		3社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社	1社	0社		3社
サービス業（他に分類されないもの）	1社	0社	2社	0社		3社
不動産業、物品賃貸業	0社	2社	0社	0社		2社
分類不可の産業	1社	0社	1社	0社		2社
金融業、保険業	0社	0社	1社	0社		1社
農業、林業	0社	0社	1社	0社		1社
複合サービス事業	0社	1社	0社	0社		1社
情報通信業	0社	1社	0社	0社		1社
合計	16社	22社	25社	1社	0社	64社
比率	25.0%	34.4%	39.1%	1.6%	0.0%	100.0%

Q1. L：社会課題の俯瞰的理解力（業種別傾向）



項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	5社	13社	4社			22社
製造業	4社	2社	9社			15社
建築業	7社	1社	2社			10社
宿泊業、飲食サービス業	1社	2社	0社			3社
学術研究、専門・技術サービス業	0社	2社	1社			3社
サービス業（他に分類されないもの）	2社	1社	0社			3社
不動産業、物品賃貸業	1社	1社	0社			2社
分類不可の産業	2社	0社	0社			2社
金融業、保険業	0社	1社	0社			1社
農業、林業	0社	0社	1社			1社
複合サービス事業	0社	1社	0社			1社
情報通信業	0社	1社	0社			1社
合計	22社	25社	17社	0社	0社	64社
比率	34.4%	39.1%	26.6%	0.0%	0.0%	100.0%

Q2. (A)～(M)の能力・資質のうち、貴社・貴団体にとって必要とお考えになるものについて、5つお選びください。



項目	合計	比率
A：コミュニケーション能力	59社	92.2%
C：課題発見・対応能力、企画力、計画力； I：チームワーク	53社	82.8%
B：自己理解・主体的行動	51社	79.7%
F：コンプライアンス・倫理観・モラル	44社	68.8%
D：創造力・論理的思考力	27社	42.2%
E：学習習慣・自己啓発力	25社	39.1%
J：一般的知識・幅広い教養	18社	28.1%
H：情報通信技術（ICT）活用力	9社	14.1%
L：社会課題の俯瞰的理解力	5社	7.8%
G：文章表現力・数的処理能力	5社	7.8%
K：統計分析・数値的分析力	3社	4.7%
M：その他	1社	1.6%
	0社	0.0%

- ・各項目を選択された割合順に並び変えたところ、最も多くの企業様から選択されたのは『A：コミュニケーション能力』59社（92.2%）
 - ・次いで『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』53社（82.8%）『I：チームワーク』51社（79.7%）『B：自己理解・主体的行動』44社（68.8%）が上位を占めた。上記4項目は順位変動はあるも昨年と同じ。
 - ・あまり重視されなかったのは『K：統計分析・数値的分析力』の1社（1.6%）。
 - ・回答母数の多い上位3業種の重視する項目 ※最も回答の多い『コミュニケーション能力』を除く
- | | |
|---------|--|
| 卸売業、小売業 | ・・・『B：自己理解・主体的行動』（86.4%）
『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』（86.4%） |
| 製造業 | ・・・『B：自己理解・主体的行動』『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』『I：チームワーク』（80.0%） |
| 建築業 | ・・・『I：チームワーク』（100.0%）『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』（80.0%） |

Q3.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

卸売業、小売業
メンタルヘルスへの理解を期待します。
弊社は毎年、貴学学生様のエントリーを多く頂戴しています。改めまして、ありがとうございます。情報技術（PC操作技術）に関しては、強化いただけたら、業務にもすぐに反映させることが可能になります。
グローバル人材の育成
食に関心がある方が多いと思いますので、先ずは見つけて頂くことかな…と考えております
食品メーカーですので食に対しての興味、自身の考えを年代問わず話せる言語能力
農業実習の経験が豊富で、現場の課題理解が深く身についていると感じます。
社会人としての基礎能力はとても高いと感じております。普段の授業や研究室での活動で、丁寧に指導されてきたと感じております。 弊社のペルソナとも合致するところもあり、今後も採用活動での関わりを希望いたします。
貴学学生様に関しましては、社会人能力や教養といったものが非常に優れている学生様が多いと各イベント等でお会いする際に感じる事が非常に多いです。弊社の制度やキャリアなども改廃し、学生様にも支持いただけるよう尽力して参りますので今後どうぞよろしくお願いいたします。※補足 7年度入社の学生様がいなかったため、現時点で内定が出ている学生や前年度入社の方も踏まえて回答をさせていただきました。
貴学の卒業生には現在も弊社で活躍いただいております、総じて企業風土や業務との相性が非常に良いと感じております。そのため大きな改善要望はございません。今後の在学生の皆様には、大学で培った「食の専門性」や「食への強い興味」を活かし、それをビジネスの現場でさらに極めたいという熱意を持って、ぜひ弊社に挑戦していただけることを期待しております。
協働力に長けた生徒を今後も輩出していただくことを、期待しております。
貴学出身の学生は、管理栄養士の資格を活かして現場で活躍している社員が多く、専門知識に加えて実務への適応力も高く、優秀であると感じております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。
毎年ご入社いただきありがとうございます。 高い意識を持ってご入社いただく学生様が多く、前向きに取り組んでいただいております。引き続きよろしくお願いいたします。
素晴らしい方にご入社していただき、ご活躍いただいております。今後も貴学の優秀な学生様とご縁を繋いでいければ幸いです。引き続きよろしくお願いいたします。
在学生の方々には、大学の充実した環境や学びの機会を最大限に活かし、主体的に学生生活を送ってほしいと思います。
様々な社会課題がある中で、農業系大学としての専門性を大切に、唯一無二の存在感を発揮することに期待します。

Q3.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

製造業
貴学は理系学部が中心のため、研究職や品質管理職を志望する学生が多いと推測しております。しかし、当社では営業やコーポレート部門においても、食品への深い興味と、理系特有の「数値・データに基づいた論理的思考力」を備えた人材を強く求めています。職種を問わず、理系のバックグラウンドを活かした活躍を期待している旨、学生の皆様へお伝えいただけますと幸いです。
学生の良いところを更に伸ばして頂きたい
(株)サラダクラブです。毎年素晴らしい農大生に入社して頂き大変有難く助かっております。弊社はパッケージサラダの製造販売を行っている会社で、農大で培った知見が多いに発揮できる会社です。社員の約10%（35名/350名）が農大生です。引続き弊社を学生にPR頂けたら有難い限りです。宜しくお願い致します。
新卒の方には良い意味で即戦力を期待しておらず、入社後に明るく、素直に、元気に、大きく育て頂ければと思います。 大学在学中には、何か一つくらいは学業面で頑張ってもらい、他は社会人として必要な素養(上記チェックした項目+コミュニケーション能力)を身につけて欲しいと考えます。
在学中に「農業に対する想い」を磨き上げて下さい。
今後とも、さまざまな学部・学科からご応募をいただければ幸いです。
専門知識にとらわれず、広い視点をもっていただきたいと思います。
貴校の学生様は、丁寧にコミュニケーションを取ることの出来る方や、自身で考えて行動に起こせる方が多い印象です。 自分のために時間とお金を使い様々な経験を積めるのが学生時代かと思いますので、学業でもサークルでもアルバイトでも、就職活動のために頑張るのではなく、自分が取り組みたいことに取り組み、挑戦し工夫した結果、自身としても頑張ったと胸を張って伝えられる経験をされた方のお話をお伺い出来ることを楽しみにしております。 貴校の学生様はお人柄も素敵な方が多いので、是非今後も当社とのご縁を繋いでいけたら大変嬉しく思います。今後とも何卒よろしくお願い致します。
素晴らしい学生さんをご紹介・ご輩出いただき、誠にありがとうございます。 貴学で培われた姿勢やお人柄が随所に感じられ、大変ありがたく存じます。 今後とも、何卒よろしくお願い致します。
弊社は農大出身者が最多です。大学での学びと弊社の事業との親和性も、現時点でも十分に高いと思います。理想を申しますと、農業系、生産系の企業実習の単位を厚くしていただくと、働くということにイメージづくりができると思います。※コーオペというものを導入した大学があります。単位も取れてアルバイト代も出る仕組みです。終了後にレポート提出⇒発表会が単位取得の流れになっています。弊社としても、今年度に初めて学生を受け入れてみます。
学生の意欲とコミュニケーション能力の高さを非常に感じます。引き続き、自律性を伸ばしていただくことを期待いたします。
優秀な人材をここ数年採用させていただいています。ありがとうございます。 オホーツクキャンパスでホタテ漁のバイトをしている学生さんとのご縁がありましたが、バイタリティがあり魅力的に感じました
専門的な知識だけでなく、幅広い経験や知識を身につけていただき、主体的な行動がとれるように心がけていただきたいと思います。
自ら考え行動する主体性や、相手の立場を理解しながら円滑にコミュニケーションを図る力を身につけていただくことを期待しております。

Q3.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

毎年、多くの卒業生が入社いただき、活躍しています。 今後とも、よろしくお願いいたします。
グローバルに活躍できる人材の育成を期待しています。
植物を通じて社会に貢献する目的意識
何事にも積極的に挑戦する姿勢を期待しております。
いつも良い学生とご縁いただき、誠にありがとうございます。 今後ともよろしくお願いいたします。
東京農業大学卒の方は皆さん非常に優秀で、管理職などで活躍されている方もいらっしゃいます。 御校での学びは、弊社の木造建築との親和性が高いと考えておりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。
植物（生き物）を扱う業種のため、臨機応変な対応力に期待します。
毎年多くの優秀な方にご入社いただいております。 現時点では特にございませんので、今後ともよろしくお願い申し上げます。
コミュニケーション能力の高い理系人材の輩出に期待しております。
貴学の卒業生の皆様には、日頃より弊社の各部門で中心となって活躍していただき、深く感謝申し上げます。特に森林や木材に関する深い専門性と、真摯に課題に向き合う姿勢を高く評価しております。
現在、住宅業界では脱炭素社会の実現に向けて、国産材の活用や「プレカット事業（木材加工）」の重要性が急速に高まっています。在学生の皆様には、森林の保全や公務員といった進路だけでなく、木材を実際の住まいや暮らしへと繋ぐ「民間企業のものづくり」の最前線にも、ぜひ広く関心を持っていただきたいと期待しております。
大学への要望としては、学生の皆様が持つ森林系の高度な教養が、実際の住宅・建築産業でどのように活かされているかを知る、企業連携型のキャリア教育の機会をさらに増やしていただけますと幸いです。今後とも貴学の素晴らしい人材とのご縁を大切にしていきたいと思います。

Q3.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

学術研究、専門・技術サービス業
在学中は専門分野以外のことも勉強されている為か、他業界でも活躍することができる学生様が多いと感じております。日本の未来を支える大きな力として今後も活躍されることを期待しております。
論理的思考力、文章力の向上
貴学からは、毎年優秀な方に入社いただけており大変感謝しております。高いレベルで自ら考え動くことができるのは貴学の教育により培われていると思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。
不動産業、物品賃貸業
在学生の皆さまには、ご自身の未来をより明るいものにするために、在学中に自分自身と真剣に向き合う時間を設けていただきたいと考えております。学生の皆さまが公平にご自身の将来を考えられるよう、企業という立場から、できる限りの情報提供やサポートをさせていただきたく存じます。今後とも、貴学の皆さまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。
貴校の卒業生は非常に誠実で、周囲と良好な関係を築きながら活躍してくれています。 在学生の皆様には、在学中から失敗を恐れずに様々なこと（留学、インターン、課外活動など）に挑戦し、視野を広げていただきたいです。大学での多様な経験が社会に出た際の大きな強みになりますので、ぜひ充実した学生生活を送られることを期待しております。
宿泊業、飲食サービス業
主体性、柔軟性、リーダーシップを持った学生に期待しています。
分類不可の産業
いつも大変お世話になっております。貴学の学生様は前向きに努力をしており、既に現場で活躍されております。引き続きよろしくお願いいたします。
複合サービス事業
学業はもちろんのこと様々な経験を積んでいただければと思います。
農業、林業
御校出身の学生の皆様は、フィールドワーク慣れをしていると感じております。自分の思いにまっすぐ！な方が弊社に来てくれるのは嬉しい反面、自己に利益があるかをシビアに判断しているなど感じるため他者利益も大切に、ということをお個人的には教えていきたいです。